京城日報

十八日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 [illegible]

◎佛軍突進、捕虜壹萬

佛軍は十六日朝ソアッソンとランスとの中間約四十基米突に亙る獨軍戰線を攻撃し敵は此の方面にサブイブ部隊と無數の砲を集中せるが各方面共佛軍は强硬なる抵抗に勝ちソラオンヌの東方ソアッソンの中間なる第一陣地を奪ひチヤヴインクールの南方に於て其の第二陣地を取り南方ベルメリクールの西方部外壁とオイヴルとクールシーとの間エーヌ運河迄突進したり同日迄に佛軍の手に歸せる捕虜は一萬を超たり（倫敦電報）

◎露獨社會黨員決議

露國及び獨逸に於る社會黨員は協議の結果ダーダネルス海峽及波蘭問題の解決を除く其他は一切戰爭以前の狀態に復歸の講和條件を可なりと決せり（倫敦電報）

◎選擧違反告發

岡田文相は靜岡縣下に於て河川改修を利用して政友會候補者の爲め應援演說を爲したりとて反對派は選擧法違反として告發せり（東京電報）

◎濱口總務危し

高知縣下に於ける選擧戰は今や白兵戰に入り憲政會總務濱口雄幸氏最も危險の狀態にあり（高知電報）

◎長崎縣大混戰

長崎縣下の政戰は今正に大混戰に陷れるが政友會牧山耕藏氏の當選疑無しと觀測する者あり（長崎電報）

◎山田市長當選

山田市長には廣島專賣支局煙務課長渡邊新太郎氏當選したり（大阪特電）

◎立花師團長歸任

立花第十九師團長は十八日朝下關より聯絡船壹岐丸にて歸任せり（門司特電）

◎總督一行歸還

春川地方巡察中なりし長谷川總督は宇佐美內務部長官、藩同高橋武官、和田秘書官、大島副官、藤波通譯官等を隨へ豫定の如く十八日午後五時三十分歸還したり

◎政務總監辭職無根

今回臨時總選擧の終了と共に山縣政務總監は辭任し兒玉內閣書記官長其後を襲ふべしとの電報を傳ふる者あるも右は識者の一顧にも値ひせざる全然無根の說なりと言へり

◎追加豫算回附

總督府本年度の追加豫算案は東京滯在中なる荒井度支部長官河內山事務官等の手に於て調製中なりしが十六日大藏省に回附せる由にて本月內には查定を了すべしと

◎特定賃金値上

大貨物特定賃金表除く鮮內特定賃金中左の如く改正し來る五月一日より實施することゝなりたり
▲穀物（荏子、胡麻類を除く）釜山下關（入い門司）間斷扱又は貸切運賃『一、三〇』を『一、九〇』に改む
▲穀物（荏子、胡麻類共）下關、門司並に其他院線連帶驛『下關又は門司迄』諸運賃『一、三〇』を『一、九〇』に改む

◎水產汽船廻著

新造水產汽船鵜丸（六〇噸）は過般原田造船所の手を離れ十五日大阪解纜十七日下關に著せり、昨今海上不穩の爲め同地に風待ち中なれば天候回復次第拔錨釜山に廻著す可き旨其の筋に通報ありたり

◎李王咸興墓參

李王殿下には此程李氏發祥の地たる咸鏡南道咸興本宮に墓參の爲め旅行せらるることに內定したり旅程は來る廿七日京城を出發し往復共に陸行を取り京元線及び永元線にて永興に出で更に自動車にて咸興に赴く豫定なるが往復十日間以內なるべしと

◎東鄕中將延期

鎭海要港部司令官東鄕中將は十九日夜入京の筈なりしも風邪の氣味あり三四日靜養の要あるより豫定を變更し二十二日入京の事と決せり

◎前田大佐歸任期

新任總督府警務總監部高等警察課長前田憲兵大佐は着任直ちに前任者山形少將より事務引繼を了し一先づ前任地晉州に事務引繼の爲め出張中の所來る二十一日同地出發二十二日朝南大門驛著列車にて歸任す可し

◎ラツセル氏來鮮

米國日本協會長ラツセル氏は同會理事ピップ氏を同行し近日來鮮の上各方面の視察を行ふ筈なり氏は有名なる親日論者にして能く日本を理解し日米國交上ハリス博士と並び稱せらるる功績を有する紳士なりと云ふ

◎高山參謀長通過

關東都督府參謀長高山公通少將は參謀長會議列席の爲め十八日午前八時十分南大門驛通過東上せり

◎入澤事務官出張

京畿道第一部長入澤重麿氏は管內狀況視察の爲め十七日高陽郡に出張したるが十八日午後歸任せり

◎ベーカー氏渡日

加奈太太平洋鐵道會社鮮滿事務課長ベーカー氏夫妻は來る二十七日午後八時五十分鮮滿急行列車にて奉天より南大門驛著京城に數日間滯在の上卅日夜內地に向ふ由

◎森脇警視出發

新任開城警察署長森脇英士氏は十八日朝南大門驛發列車にて赴任せり驛には多數の見送ありたり

◎牧山氏動靜

朝鮮公論社長にして政友會公認候補者たる牧山耕藏氏は二十一日夜船便にて五島より長崎市に向ひ萬歲町上野屋旅館に宿泊同地にて同縣下開票の結果を見て壹岐に赴く可しと

◎北京郵電學生見學

北京郵電學校教師オウソウケン氏は同校卒業生十名を引率し本邦電信電話事業研究の爲め十七日北京發朝鮮を經由し東上す可し

◎大陸發展の根本義

山東南滿方面に於ける日本人の發展＝朝鮮統治に對する外交界の好評＝大陸發展の目的と其の手段＝誤られたる日支親善說＝兩國の好誼は乘公持平に在り

支那公使館書記官 出淵勝次氏談

予は本月三日北京を發して或は濟南、青島を經、或は旅順、大連を過ぎりて十六日朝入京したり、此の行予の最も愉快を感せしは到る處日本人の發展せる一事にして南滿の如きは單に商取引の殷盛なるのみならず工業亦勃興の機運に向ひ大連に在ては在住同胞四萬と註せらる、抑も青島は山東鐵道と共に之を獨逸より獲得し、大連は南滿鐵道と共に之を露國より繼承せるものにて即ち山東といひ滿洲といひ何れも日本現下の

▲活動的根柢 は之を外國より得たるものの其規模の大小施設の備不備は兩者等しからざりしと雖も何以前に於て既に相當經營の跡を存し日本は獲得後更に之が手入れを爲せるに止まれり、然るに當朝鮮に在りては從前の施設殆ど見る可きものなく僅に外人の經營に係る三五の鑛山及び電車事業等に過ぎず何も日本の手に依りて新に經營されたるものゝとて從つて彼地の如く諸般の規模宏大ならず、又た天產物に於ても大冶、撫順の如き大鑛山に乏しきを以て今後の施設經營に就ては更に

▲多大の努力 を要す可きは言を俟たず、されど朝鮮の現狀を併合當年に比較する時は所謂天壤啻ならざるものあり、久しく秕政に惱み誅求に苦み且つ天然よりも忘却されたる朝鮮が既往六箇年間に於て斯く顯著の進展發達を示せるは一に當局者の措置宜しきを得たる結果にして併合以前任に朝鮮に在りて當時の情況を實見せる予等に取りては殊に隔世の感あり、此の事實は北京外交界は勿論各國到る處非常の好評を博し外交官等は何れも口を極めて

▲之れを稱讃 し居れり、這は阿諛にあらず御太鼓にあらず、苟も總督府發行の施政年報を一覽せるものにして日本の成功を祝福せざるものなきは予の責任を以て公言し憚らざる處なり。却說、朝鮮といひ南滿といひ將た山東といふも其處には必ず土着の人間あり、元來日本の大陸發展なるものは經濟的發展を目的とす、既に之を目的とせる以上其の發展は飽く迄平和的ならざる可からず、宜しく公平ならざる可からず、我的なる可からず、吾人が大陸發展の對象物として須臾も忘るべからざるは

▲民衆及天然 なり、民衆に對しては吾人は飽く迄公正を持し同情を有し常に彼等と圓滿なる關係下に移り進むべく苟くも彼等の不滿不平を買ふが如き行爲ある可らず經營の發展に征服的態度は絕對の禁物にて何處までも利害休戚を共にするの觀念肝要なり、殊に朝鮮人は既に我が同胞なり、彼等に對しては充分の敎育を施し、充分の向上を計り、提撕以て母國に靈されむことを望む。了りに臨むで一言す可きは

▲日支の親善 なり、之に就きては種々の說あり時々巨額の貸附に依りて其の實を擧げ得可きが如く論ずるものあるも斯る恩劣淺薄の所論は一顧の價値なし、唯我國にして飽くまで乘公持平以て支那に臨まば兩國の親善は期せずして之を得可く所謂之を標榜するが如きは一面に於て徒に支那人に不親善なりしといふと同樣なり、要するに予の親善說は飽く迄利害共通の原則に則り何處々々までも經濟的發達を圖るに存するのみ亦た他あらざるなり

◎京城府新事業

京城府本年度新事業としては公園事業、圖書館補助、下水改修事業、市場の設備及び警備事業等なる事既記の通りなるが今其の事業費の內容を聞くに公園事業費（道路改修新築及び簡單なる植樹）千五百五十二圓、圖書館補助費二百圓、市場設備費一萬圓、下水改修事業（實地測量及び設計費）五千圓及び警備事業（消防室新設費）六百五十圓等なりと云ふ

◎畜犬稅增額案

府特別稅條例に由る犬稅は從來年額一圓なりしが今般條例改正と共に府當局にては犬稅を二圓に增額する旨の決議已に終了し目下認可申請中なるが其の主旨は目下狂犬病流行に際しての撲滅方法亦侮るべからざるものあり出來得る限り畜犬の頭數を減じ自己の飼犬番犬に對し比較的充分の注意と保護を怠らしめず以て該病豫防の一助と爲すと同時に必要以外の畜犬を少からしめんとするに在りと

◎桑苗栽培有望

京畿道永登浦朝鮮勸農會社農場にて去る大正四年以來桑の接木苗を試作したるに成績良好にして翌五年中には八百五十萬本の接苗を行ひ今春之れを京畿道廳へ十五萬本、黃海道廳九十萬本、全羅北道五萬本等を納附販賣し其の全部を賣却せるを以て本年更に事業の一大擴張を行ひ露島、全南羅州、全北全州の三箇所に苗圃を設け七百五十萬本の木を行ふべしと

◎京畿管內魚市場成績

京畿道管內に於ける各魚市場大正五年度賣揚總額は三萬二千十貫四萬一千六百十圓にて京城魚市場を第一とし龍山水產市場京城日の丸市場仁川水產市場相間次す

◎商銀の新支店

京城朝鮮商業銀行にては今回業務の擴張發展を圖り近く群山に支店新設の計畫を立て不日臨時株主總會を召集し附議決定することゝなるべしと

◎牧山派違反誤報

大阪の新聞に長崎縣北松浦郡に於て政友會公認候補牧山氏派の選擧違反事件起れりとの記事あるも斷じて然る事實無き旨同氏宅に入電ありたりと

◎平壤府協議員任命

四月二十日を以つて任期終了すべき平壤府協議員後井佐一郎氏の後任に就いては已に銓考を了りたれば玆兩三日中に任命を見るべく三月二十八日を以つて任期を終れる同林錫奎氏の後任も同時に發表すべしと（平壤）

◎礦石取扱所開設

平南成川郡の崇興金鑛より鎭南浦久原製錬所に移出する礦石を金鑛より三登邑に運び同地より大同江を利用せん計畫にて已に三登邑には礦石取扱所を設置し青木組平壤出張所之を經營することゝなれり金鑛より三登に至る道路は賦役にて改修すべく目下着々準備中三登邑及び沿道地方は將來の殷賑を豫想して俄に活氣付き居れり（平壤）

仁川

▲仁川在庫數量 仁川在庫穀類は十五日調査に依れば三十四萬四百四十四叺にして先月末日現在に比し殆んど大差無し此れ主要輸移出品たる米及び大豆の出荷無き爲めにして玄米の如きは單に八千叺の減大豆一萬一千增の如き沈滯狀態にあり數量は（單位叺）▲玄米二八八、四四八▲白米七、五八三▲粟二、〇二一▲籾米三、四八三▲大豆一六、二五七▲小豆六、七五二▲小麥三、四九九▲荏子一、五三▲蕎麥一、八▲裸麥二一〇

▲卒業生寄附 仁川公立高等女學校本年卒業生一同は母校に時計三個（十四圓七十錢）を記念の爲に寄附したり

▲水陸祭 仁川內里外里龍里の朝鮮婦人四十數名施主となり富平郡永宗面白雲山龍宮寺の住僧に依る水陸祭は十六日執行されたるが寺僧及び施主興外四名の僧侶及び施主四十數名は三艘の通船に分乘し船中祭壇には孔子の像を描ける軸を懸け左右に造花及び菓子果物の類を供へ海上に於て禮拜しつゝ永宗島に至り同日正午より同四時迄祭禮をなし龍宮寺に一泊の上十七日歸仁したるが仲々の見物にて費用は丁致陶氏川俯朝鮮人紳士よりの希望に係る者なりしと

▲街路整理 既報の如く仁川府にては街路整理を行ひつゝ有るが街の現在數約百八十にして內繁華なる市街地より二十餘個を取外し濱町山根町外等に通ずる道路に取付け且つ散歩に便する爲め各國公園にも數個所に電燈を取付くる由

平壤

▲面長協議會 平安南道大同郡廳に於ては來る二十日管內面長全部を召集し面長協議會を開催すべし

▲春季清潔法施行 平壤警察署管內は四月十八日より二十八日迄向ふ十日間春季清潔法執行さるべし

▲薪炭價稍下落 平壤に於て使用する薪炭は主として平安南道、江東郡產にして結氷期を除くの外は概して大同江の船便に依りて供給されつつあるが冬期結氷中は陸上運送をするにより運賃高く到底不引合なるより此期間に於ては平北宣川定州安州、黃海道新幕南川汗浦方面より汽車輸送をなし以て結氷中の薪炭供給を見つゝあるも本年の如き猛烈なる寒氣續きには此方面のものすら輸送中々困難にして一月頃一時非常の騰貴を示し松葉一把十錢內外のもの三十錢位となり松薪十貫四十錢內外のもの六十錢を唱へ木炭又十貫に付一圓五十錢のもの二圓二三十錢に取引せらるゝ狀態なりしが四月に入り大同江清川江の解氷と共に、川の奧地沿岸に滯積せし薪炭漸次出廻り昨今に於ては殆んど平時と同一價格にて賣買されつゝあり

▲自動車商會成績 平壤自動車商會三月中營業收入は一千一百五十一圓十九錢にして昨年三月の收入四百七十六圓四十錢に比して六百七十四圓七十錢の增收入なるが此は平壤成川間の新線路による收入の大部分を占め居れり

▲市街鐵道成績 平壤市街鐵道三月中乘車人員七五一七人賃金四八三圓六十二錢にして昨年同期收入三五三圓三十八錢に比し百三十圓二十四錢の增加を示せり

▲講習會員名簿作製 平安南道廳に於ては農業林業其他產業に關する各種講習會修了者の名簿を作製すべく各府郡に執き目下調査中なり

人事消息

▲川端北京日本公使館書記官 十八日朝退京
▲中島全州憲兵隊長 同上
▲瀬野咸北警務部長 同上
▲宇都宮道技師（總督府技師）同上
▲北條咸北へ出張を命ぜらる 十七日朝咸南へ
▲小野總督府技師（總督府技師） 同日朝仁川へ

滿洲見聞錄（一）

奉天にて 西海生

雨亭張作霖督軍

▲滿洲最高の大官たる雨亭張作霖督軍程一身に權勢を鍾めてゐる地方官は支那にも二人とないらしい、雨亭は督軍として三箇師團弱の奉天省陸軍を統督してゐる、既に之れのみでも氏の地位は甚だ顯要であるのに、更に省長として省內の民政を掌り因緣淺からざる第二十七師は依然氏の直接麾下で兎に角威儀を整へ、奉天を中心とし省城近在に屯ろしてゐる

▲茲に予は作霖督軍の前身から、其の樞要の地位に登つた經歷を記さうとは思はぬ、唯世間では張作霖と云へば支那でも聞れた武人だけ、關羽の再來のやうに嚴つい相貌と虎髯々たるもののやうに思つてゐるらしい、然し之れは實際と大分異つてゐる、督軍は早婚の支那上流社會の中の上流に位してゐるに拘はらず、漸く此頃初孫を見る慶びに達した年配で、本年四十三歲、無髯白顏、眼の涼しい、女にも見まほしき好男子である美丈夫だと聞いてゐても、一度督軍に面謁した人は、更に一層秀麗の相好に誰れも一寸案外の思ひをするさうである

▲督軍は省城の中央、城郭然たる公署內に起臥し、公私百般の事務を視てゐる、氏には巨富がある、氏は利害の判斷に頗る明敏な頭腦を有つてゐる、更に顏に似合はぬ不屈な强剛な膽氣を有してゐる、其一度遂行を決するや左右を顧慮せず、障碍に拘泥せず斷々乎としてやり終さねば止まぬ氣魄がある

▲日本に對する支那の地位……殊に緊接の關係ある滿洲の支那人は如何にして日本に對せねばならぬかと云ふ事は先見に明らかな氏の最もよく了解せる所である、氏は久しく第廿七師長をして居た、然も彼の德望を以て聞いし張錫鑾奉天將軍の故山に歸臥するや、直ちに一躍其の跡を襲ふて軍民兩治の權を把握するに至つたのは、其の省城警護に最も近い强大の兵力を擁して居た關係もあらうが、中央政府で作霖氏ならずば滿洲治め難し、又作霖氏程對日關係の呼吸を呑み込んだ大官は所詮他に見出し難いと云ふ點から、氏の督軍陞任を命じ又其の實現を見たもので

▲支那の政務は日本のやうに確たる形式とか帳簿とか書類とかで完備してゐるのではない、從つて省務の決裁の如き、最高首腦者の頭の振り方でドシ〳〵極つて行くのである、それにしても督軍一日の政務處理は少くも六七百件、チト忙しい日には千件に上ると云ふ話しであつた

機務に參劃し督軍を扶くるには最高顧問の于神漢氏あり、其の周到の注意力は一省の政務に力がある、又秘書長の眞金鏐氏は稀れなる才物で常に雨亭督軍の左右に侍してゐる、參謀長の楊宇霆少將は青年武官だが、省內軍務の處理一に氏の手を煩はす概ね氏の幕僚はさうである、要するに氏の一統攬りの滿洲人で固めてゐるやうだ、外交涉使に老練な馬廷亮氏あり、財政廳長に王永江氏あり、廳長に王樹翰氏あり何れも瀋陽官界の大立者である

▲督軍は其の權勢を右の如く一身に鍾めてゐるに拘はらず、色々な關係から其の身邊の警戒は頗る嚴重らしい、從つて其の渡日も前途遼遠であらう、倘ほ今回當社の視察團に對しては厚遇到らざるなく、其の歡待は一同の感佩措く能はざる所である、倘ほ一行は北陵其他の巡覽に際し、督軍の衛兵士の行屆けるに感じ入り、督軍の平生の用意を語り合つた

逐鹿夜話

▲今度は立候補を思ひ切つた神奈川縣の楠井準造君其の斷念の理由を語つて曰く『出て出られぬ事はないかも知れぬが從來の例で見ると代議士の成れの果程みじめなものはない現に神奈川縣でも昔一人は首を縊て死んだし一人は零落して乞食同樣になつて居る夫等を思ふと僕だつて後生氣も出やうぢやないか……さうさ無けなしの金をすつかりすつて了へば苦しまぎれに何うなつても惡い事をする樣になる貧乏人のなる事つちやない』と楠井君之れを自分の政治哲學だと言つて居るそうだ實際其の通り

▲泣いても笑つても後二日地獄極樂の追ひ込み道だから內地各選擧界は沸ね立つ樣な活況を呈し從て珍紛漢紛奇々怪々な事も隨所に飛び出す札幌の政友會候補中西派の運動員が山椒魚の黑燒は思ひが叶ふとの迷信から其の黑燒を有權者に振りかけたら運動費の節約が出來て其上に能く効能が顯はれるだらうと然々々、禁厭をやつて居るとは嘘ぢやない實際だ之等が特に奇拔な處だろう

▲鳥取縣候補の安住伊三郎君は遺憾ながら風采が頗る揚らぬ▲遠藤隆吉博士が態々東京から應援に出掛けて演說の際側に控へた安住君を指しながら『安住君は御覽の通り甚だ貧弱に見ゆる併し諸君昔希臘のソクラテスは至つて風采の揚らぬ人であつた其爲めに細君から水を浴せかけられた事もあつた……若しソクラテスが豪いならば我安住君も豪い人であらねばならぬ』とやつたので大喝采應援演說も人を見て法を說けだから數が多くなると言葉の品切れがするものと見ゆる

社告

大田支局長 橫瀨新三郞

右新任支局長として事務開始致候間此段同方面愛讀者諸君に謹告仕候也

■歩兵第七十八聯隊軍旗祭

◉春光營庭に映にて

餘興に嬉戯する兵士一日の行樂

第七十八聯隊の第一回軍旗祭

歩兵第七十八聯隊第一回軍旗祭は十八日午前十時三十分から龍山兵營營庭に於て森厳莊重に舉行せられた各大隊は午前九時より武裝し

▽行進の譜に伴ひ 營庭の右より第一、二、三の順序に北面して堵列し其の位置を作れば龍山小學校兒童數百名其の前面に整列し釜山武官、李、張參領其他軍司令部及び在龍山各將校金谷府尹其他の來賓は其の左方に整列せりおだしく靜かなる

◆花曇りの 營庭には老樹の梛みどりに萌ね杏の花の紅、連翹の黄なる花處々に萌黄の若葉を隈取りて春や將に酣ならんとす午前十一時二十分秋山軍司令官は『海ゆかば』の喇叭の吹奏裡に來賓席の首位に著けばやがて定刻に及び『著劒』と『氣を付』の合は

▽隊より隊に傳り て廣き營庭は閴として宛然無人の境の如くなり十時卅分歩兵第七十八聯隊聯隊旗は誘導將校松尾中尉に導かれ吉村大尉紫縮緬に包みたる勅語を捧持し軍旗は五名の衞兵に左右を護衞せられ旗手澁谷少尉の手に捧持され徐々と

兵代つて軍旗を護衞す此の聯隊旗は大元帥陛下より御親授せられて玆に滿一箇年旭光鮮やかに微風に翻り

▽春の緑に相映發 し一しほの崇嚴を示したりやがて軍旗に對する捧銃の敬禮はいと莊重森厳なる喇叭『あし曳き』の譜吹奏中に行はれ來賓を始め營前を通行する人々まで脱帽して恭しく軍旗に禮拜し次で池内聯隊長は各隊各員

◆最敬禮中 に吉村大尉の捧ぐる勅語を享けて恭しく

歩兵第七十八聯隊の爲め軍旗一旒を授く汝軍人等協力同心して我帝國を保護せよ

と捧讀し次で軍旗及び各大隊は分列の地位に就き第一歩隊より行進を起し歩武嚴々と軍旗に對する最も勇壯なる分列式を行ひ終つて軍旗は

▽再び中央の位置 に著き『あし曳き』の譜吹奏中に捧銃の禮及び各員最敬禮あり終つて始めの如く松尾中尉の誘導にて常の奉安所に入り之れにて式を終り將校及び來賓一同は將校集會所に於て

◆立食の饗 を受け酒三行にして池内聯隊長起つて『當聯隊聯旗御下賜一週年記念祭に當り閣下並に各位の來臨を得たるは當聯隊の頗る滿足とする處なり饗應は野戰の式に則り粗酒餚肴なれど

▽此祝日を祝賀し 充分の歡を盡されたし』と述べ軍司令官秋山大將は來賓を代表し『光榮ある當聯隊の創立記念祭に請待せられたるは一同の光榮とする處なり一同に代つて恭しく祝意を表す』此に於て 天皇陛下の萬歳を三唱せんとす一同唱和せられたし』と述べ

◆滿場祝杯 を擧げ東向して大元帥陛下の萬歳を三唱し再び酒宴に移り歡を盡し午後一時より一同營庭に設けたる餘興場に入り擊劍、銃槍、角力、二人三脚、和製タンク、百鬼晝行、チンバ競爭、一人一脚、陸上短艇、綱引『避難』、擔廻し、

▽戴嚢、即答競爭 旗送り、スプンレース、武裝、擔架、札合、蜈蚣、提灯、障碍物等の競爭あり猶飛行擊劍試合龍山小學校生徒の競走等ありて盛會を極めたり

▲騎兵創立祭 在龍山騎兵第二十六聯隊三中隊に於ては十八日創立祭を行ひ營内に於て餘興あり盛會を極めたり

本社主催 南北滿洲視察團

◆想ひ起す、當時の戰況

萬歳聲裡に奉天出發 列車中の沿線戰蹟現地講話

十七日午後三時四十分奉天驛を萬歳裡に出發し渾河、蘇家屯を經て一路營口に向け南下す列車には遼陽守備の第五十四聯隊の中原大尉、吉田中尉の現地講話あり

◘壯烈なる 奉天沙河遼陽の戰の戰況は歷々指呼の内に在り遙に平原の中の疎林獨立家屋など滿目當年の戰歴を語らざる無し遼陽附近首山堡にては軍神橘中佐の戰跡も一行の感慨を深し鳳山鞍山店にては近く二千萬圓の大工事に著手す可き大鐵山の鑛頭線路附近に露出し今や南滿の人氣は此所に集中されつゝあり汽車は歡談笑語を乘せて

◘南滿平原 を走る千山の暮色蒼然たる邊海城附近にて日暮る一行は十七日夜八時三十分營口著の豫定なり(大石橋にて幹部員發電)

◉馬賊歸化支那人を襲ふ

故野津將軍の愛顧を受けた者

日清戰爭當時其父某が野津將軍の愛顧を受け其恩誼に感じ軍に隨ふて日本に赴き東京府豊多摩郡大久保町大宮百人町に原籍を設け日本に歸化し更に内地より自分丈け渡滿せりといふ馬有福(三○)は現住所を海城縣に置き所用ありて立山の西北八支里大紅旗趙溝一方に赴き滯在中十二月夜九時過ぎ一團數名の馬賊趙方に押入り拳銃小銃棍棒など携へ家人を脅迫し銀百圓及び衣類装飾品等約八百圓許りのものを強奪し去り尚趙の雇人某は大腿部に貫通銃創を又前記馬有福は左耳下及び右腕に二箇所打撲傷を負ひたりとて十三日本人態々遼陽警務署に訴へ出でたり(奉天)

◉刑事殺し犯人

長崎にて死刑

殺人傷害犯人として知られし野田太登一は十七日長崎にて死刑執行されたり(長崎特電)

◉村上專精師來る

二十四日夜入京

文學博士村上專精師は十七日午後九時十分釜山入港關釜連絡船對馬丸より上陸棧橋には谷宗布教師及び信徒多數の出迎を受け直ちに本町三丁目坂田文生氏邸に入り十八日より廿日迄三日間西町東本願寺に於て講演を爲し廿日午後十一時發列車にて木浦に赴き同地にて二十三日迄滯在廿四日午後八時五十分南大門著列車にて入京の豫定なり(釜山特電)

◉浦鹽無警察

邦人軍人團警戒

浦鹽は秩序の維持保たれず宛かも無警察の觀あり在留日本人は日本軍人團を組織し毎夜各所を警戒し萬一に備ふる事としたりと(大阪特電)

◉許嫁を遺して

佛軍の犧牲となつた飛行家

佛國にて慘死せし飛行家は前報の如くなるが多分竹市正俊氏ならん同人の許嫁俊江子(二○)は大阪に在り竹市氏は年二十八、高知縣の中學を卒業後渡米し飛行家となり佛軍に從軍せりと(大阪特電)

◉孟買の火事

棉花五千俵燒く

孟買市コラバに於て火災起り棉花積置場の棉花五千俵は燒失の厄に遭へりとの報あり(大阪特電)

◉朝鮮寫生旅行

中澤弘光中川八郎氏等來鮮

文部省展覽會審査員中川八郎、元同審査員中澤弘光、加藤靜兒の三氏は朝鮮内地寫生旅行の爲め十七日朝釜山着の連絡船にて釜山に上陸せり

◉酒亂の鑛力屋

木枕で朋輩を傷く

京城蓬萊町三丁目武準永方同居人東南部町生の鑛力職梅谷富太(三九)は四月十五日夜自宅にて飲酒酩酊の上同居人なる仲間の町田恒一郎に朝の酒代ありやと尋ねたる際町田が心配することはないと答ふるや生意氣なりと手で摸りたる上有合はせたる木枕を以て顔頭部を亂打し深さ骨膜に達し加療休業十七日を要する創傷を負はせたるより富太は本町警察署に引致取調の上檢事局へ送らる

◉支那町の火事

仁川支那町三千番地理髪業平洪昇方より十七日午前二時五十分頃出火一戸一棟を燒失したる後午前四時二十分に鎭火したるが損害價格は三千九百圓に及びたり原因は熔場の煙突より失火したる物にて防火の際消防夫一名は輕微の負傷をなしたり(仁川)

▷視察團より◁

◘滿洲の野に 溫突、鮮人

奉天の朝は京城より寒い 開拓される朝鮮人の水田 驚ろきの眼を睜る大國人

◇十六日の未明安奉線で眼がさめて見ると汽車は漠たる大平原を走りに走つてゐる、折から東方の地平線上より曉靄に浮んだ太陽が出た、まつ紅な盆のやうな太陽である

廣い〳〵海のやうな野原を黒い裳衣を着た支那人が大きな支那馬車を驟馬に挽かせて行く

◇撫安といふ驛で若い日本の兵士が銃劍を輝かせてわれ〳〵の汽車を見上げてゐた、ゆるく流れる河がある渾河だといふ、曾て子供の時『クロパトは沙河に追はれてモウとんか』がこれだなと思つた

◇奉天驛の朝はまだ京城よりずんと寒い、折から朝鮮の白い着物のおかみさんが大きなバカチ(瓢)を頭にのせて驛から出た、現下朝鮮人の南滿洲發展!それは此のおかみさんが意味深長である、北陵に行く時海のやうな野原の中に煉瓦で圍むだお寺のやうな家が見ゐる、黒い錫をへんな臭ひが何かと思つたら例の燒酎屋であつた、馬車が

◇北陵に近づくと其處此處の野に白衣の人が見ゐる、これは近來頻りに開拓される鮮人の水田であつた、溫突も見ゐる、此處にも鮮人!遠く遙かな地平線を見れば蒙古から吹き通す春の黄風が微々と來る、白衣の人はどこまでも〳〵蒙古までも進むかも知れぬ

◇奉天から一里半の北陵につくと墓護の土官が鼠色の服に紅の肩章をつけてゐる、ドス黑い煉瓦で圍むだ塀をくぐつて陵内に入ると石象や石麒子、石馬などがある、隆恩門から奥の大宗文皇帝之陵と記された碑文まですべて漢字と滿洲文字と蒙古文字を記してある、一行は度々鳥肌を操つた、周圍の松原は實に廣い

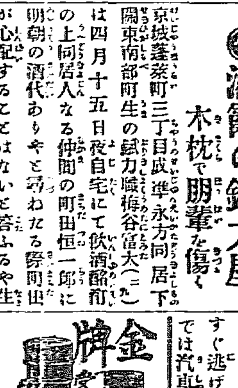
◇北陵道の途中長春から下りの汽車が來た、汽車は見わかゝつてから見失ふまでなか〳〵の時間がかゝる、すぐ逃げるがさすがに奉天の野ツ原では汽車も容易なことでは逃げられぬ

◇奉天といふ所は家も人間も黄風色になつてゐる、君たちはいゝ時來た昨日來たら黄風でひどい眼に遭ふのだつた――これでも草の芽生へにはよくなるがれ――とは奉天首席關衛祉中佐のはなしであつた、なるほど此の廣い野原を海鷗のやうな胡砂を飛ばせば大に飛ばせ甲斐があらうと思つた

◇一行の馬車はさすがに物事に頓著せぬ大國人でも注意をひいたと見ゑて城内の宮殿に行くまでも途中でいろ〳〵な人が珍らし相に見る、殊に龍山の岩田七十一老人が第一部の紅い旗をひるがへして行くのが一異彩である

◇奉天の市街は京城と同じく雜踏がある、その中四平街通りといふのが最も賑やか、店の前から巨きな龍や麒麟が吞みかゝるには恐れ入る、奉天は此の頃發展がいさいふ、鐵道附屬地の新市街も開けるしそれに最近出來た劇祭の砂糖會社も人氣を呼んだらしい

◇新市街から見た夜の奉天城、これはまた大海原の漁火のやうに見われる、是平野に垂れてひろしどころの騒ぎに非ず、赤塚奉天總領事は目下病氣中『近來朝鮮人との交渉が益々増ゐる』とは宮越警務署長のおはなし(十六日夜奉天にて金谷生)



金牌受領 男女頭髪用(チックびん附時代遅れ)

本椿香油 本椿ポマード

好評を博せる本椿香油を基礎として謹製したる物なれば在來有觸れたる品と異なり毛髪の營養を助け

毛を黒く柔げつやを出し

くせ毛、ぬけ毛、赤毛等を防ぐ事妙也

本舖 大阪西横堀 三宅堂

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍切手を呈す)

▽麥酒『ビールの値上とかけて』

○痲疹と解く 心は掻いて悩む(買手悩む)(一等) 龍山 乃美

▲醫者の治療と解く 心は商科醫者(四分割)がやる 龍山 集子

▲二等賞と解く 心は二分(二割)四分(四割)と(臨賞)す 京城 泰坊

▲大掃除と解く 心は衣袋の大恐慌(臨數の大恐慌) 龍岩浦 武良富美子

◆義兄殺し控訴

[illegible]けたるが被告は之れを不服とし平壌[illegible]せる廉にて平壌署に拘留取調中なり[illegible]しが十七日一件書類と共に檢事局へ[illegible]

百二 北川[illegible] [illegible]

◆懸賞課題及び募集規定

[illegible]

◆募集規程

▲川柳は[illegible] [illegible]

天氣 曇り (十八日午後[illegible])

商況

債券現物特電 (東京)

十七日出來値

銘柄	値
東京市電	六三、五〇〇
東洋拓殖	六二、〇〇〇
朝鮮銀行	一七、一〇〇
朝鮮殖産	一一九、〇〇〇
南滿鐵道	一四三、五〇〇

公債直取引 (東京)

十七日出來値

銘柄	値
五分利特別	九七、二〇
五分甲號	八二、一〇
一回四分	八一、五〇
二回四分	九七、〇〇
中五分	[illegible]

深川在米特電

十七日現在高

種別	高
朝鮮米	二一〇、九六二
臺灣米	二二、九八六
内地米	一、七〇六、三八五

東京期米特電

十七日前場 五月限

寄付	高値	安値	止め
一七、二四	一七、二四	一七、一五	一七、一六

大阪株式

十八日前場 (寄付・前場引け)

[illegible]

大阪三品特電

十八日前場

限月	寄付	止め
四月限	九四、九〇	九五、〇〇
五月限	九〇、九〇	九〇、九〇
六月限	八七、四〇	八八、三〇
七月限	八六、〇〇	八六、一〇
八月限	八五、〇〇	八五、一〇
九月限	八四、九〇	八五、一〇

大阪期米特電

十八日前場

限月	値
先限寄付	一六、〇九
中限寄付	一六、四一
當限寄付	一六、八九

下關期米特電

十八日前場 古米買氣みあり人氣引締まる

限月	寄付	止め
先限	一六、[illegible]	一六、[illegible]
中限	一五、[illegible]	一六、[illegible]
當限	一五、[illegible]	一六、[illegible]

雜報

◉大連銀低落 一圓方低

十七日午後大連の金票相場は前日より一圓方低落し百十三圓六十錢と四月中の新安値を報じ同時に大豆定期市場も

其他六錢より八錢方低落

[illegible]

◉金物材の其後 鐵類

[illegible]狂騰相場も凌駕[illegible]

實需とより同業者間に思惑賣買の行はる

當時の極めて多忙な前熱狂

[illegible]

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

◉仕入服古着賣立

地方より注文 甚だ多き模様 洋服生地高 古着の際特に需用多し

[illegible]

◉砂糖は不味

下押し小口賣十三圓大口取引十二圓八九十錢唱へられつゝあり

[illegible]

◉色豆更に高値

十七圓といふ新高値

[illegible]

鮮内鑛石價の上伸

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

三巴仲買店

電話一二一、一三二、一四一 振替口座京城四〇二

◉雜鑛價格伸びむ

[illegible]

選鑛の法設けむとす 近く鷲梁津に選鑛場

[illegible]

◉黒鉛好況

一二三百圓の値開き 一噸五百乃至五百圓

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物 (十七日)

[illegible]

生魚市場

[illegible]

期米 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 齋藤宗之助 電話三六七・三九七

仁川期米

十八日前場 大阪前寄 十六圓八十九錢と昨止同事の入電二

節不明 大阪三節八十七錢 四節八十六錢と小鈍き

確實 迅速 廣澤正次郎 仁川海岸町 取引所仲買人

市場零聞

▲依然焦げ付

▲市場氣乘り薄

▲前場の手振

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三八番

▲愈々閑散

▲期米弱含

正米崩れの一幕は必定

受取らん斯る惡質の米を 既に變質米を出し 現出するならん

望まれず 今後の出穀は到底

[illegible]

仁川米豆取引所

十八日の六月限

前場 寄付・高値・安値・止め・出來

平均値段

賣買取組高

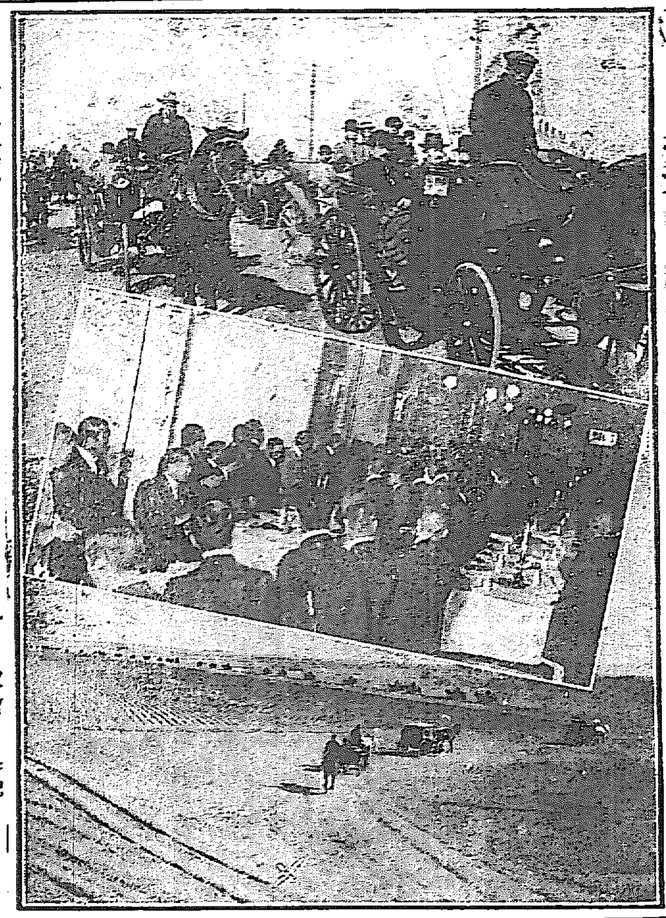
白米標準値

十四圓九十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 十五錢五厘 次白 十五錢

[illegible]



圖南北滿洲視察團畫報(一)(釜山支局社員撮影)

(上)奉天に於ける馬車上の團員(下)馬車を驅れて北陵に向ふ(中)奉天總領事館に於ける官民大歡迎會

●男禁制になる 中之島公園の一部

婦人運動場に門衛を置く計畫

大阪中之島運動場は市で三萬五千六百七十圓の豫算を以て公園擴張工事を行ふ事となつたが、これが出來上れば難波橋下から東へ遠く天神橋にまで延長されて一段と其の面目を新にする事であらうが、これから夏へかけて◇

♣綠滴る公園 の樹の影には兎もすると不良少年の類が出沒して夕風涼しきベンチの上に、甘い／＼蜜のやうな戀の囁きが取交されるのは毎年のこと、それに市中を浮浪する宿無し等が處構はず芝生の上や亭の中で高鼾をかいて一夜を明かすなど

♣其の取締に テカ／＼困難なものがあるが之に就て市體育奬勵會の青木監督の云ふ處では、『實に浮浪者や不良青少年の輩に折角の運動場を占領されるのは困つたもので警察の方へも度々賴んでゐる事ですから今年の夏は警察側と協力して充分嚴重に取締らうと思つてゐますが、何分此處は

♣巡査の巡廻 が少い處ですから是非共公園内に派出所が欲しいので、北署の方へも相談して置きましたが經費の點で今まで延び／＼になつてゐたんですが、今年は多分出來ようかと思ひます、これさへ出來れば公園事務所の方からも我々が巡回して協力取締に力めたれば多少公園内の風紀も改善されるだらうと思ひますが、モ一つ彼の

♣女子運動場 の方に門衛のやうなものが欲しいもので、女子運動場の方へは絕對に男子を入れさせないやうな事にするのも好からうと思つてゐます何しろ莫大の費用を掛けて設けた公園が浮浪者や不良少年の巢のやうになつては誠に困つたものです(大阪支局)

●金魚の時節

今年流行る金魚 支那行の京城物

▽朝鮮人の賣る硝子入は不衛生

『金魚や、金魚―』朝鮮人の金魚賣りが此の頃專ら市中を觸れ歩いてゐる盛りの短かい花にも聞無い今日此頃は早くも

◆金魚の時節 に入らうとしてゐる。京城に來る金魚の多くは東大門外の養魚場から市中に出されるのであるが、此頃は京城から支那へも内地へも輸出されるさうだ乃で値段も幾分高くなつてゐるが色のかつきりした逸品の出るのでは大和の郡山などが有名であの邊の水には鐵分が含まれて居るから

◆金魚の飼育 上、最も適當なのに依る、種類はいろ／＼あつて和金、流金、獅子頭、出目金、支那金、蘭鑄等は人のよく知つて居る。京城で今流行つてゐるのは、蘭鑄でこれは尾鰭を左右に振つて泳ぐ姿が又なく優美だとされて居る。何種類に依らず金魚は、頭に獅子頭を恰好よく冠つた

◆尾の開きの よいのが上等で、三年子の上物になると大抵十圓から四十圓位まですする、けれども普通營業者は、二年子を手放すので、小は七圓、中は十五六圓、大は三十圓内外(千尾の相場)で、蘭鑄一對、三四圓の處が普通の値段だ。金魚の容器は、外見の美と云ふやうな點からよく硝子器を用ゐる朝鮮人の賣りに來るのは大抵硝子玉に入つてゐるがあれは衞生上

◆非常に害が あるので硝子器へ入れて置いた金魚は大抵長持ちがしない、ならば水苔のビッシリと生ねた、灰汁ぬきの木造ものか、漆喰ひやセメント塗りのものに限る、水は一週間に一遍位取りかへこやる、餌は赤目と云つて細かい

◆みゞづの子 かなにが一番よいそれも餘り澤山やるのは却てよくないから、一日に一度位づゝ加減してやるがよい。蘭鑄は柔かな金魚藻なら極上等だ、田の畔などに生ねた蟲の出るのは餘り感心しない

●半熟の果物

子供に最も有害

バナヽ、西瓜、苺、そら豆など新しく出て來た果物に、これからの水菓子屋はだん／＼賑かになつて來ますが

◇市中の店頭 に艶やかな彩りを見せて美しく飾られてある彼の果物類は産地から京城へ送られて來る時はまだ時節が早いので本當に熟れては居ないのです、完全に熟し切つたのを送ろとすると大抵は途中でくづれて仕舞ふのです、ですから林檎でも蜜柑でも、みんな熟し方が七分のうちに、もぎ取つて

◇叮嚀に箱に 詰め京城へ來るのですが、丁度京城へ著く頃は青い色が日ましになつてホンノリと染つて居り、其を三日四日と店に曝して置く中にいつか喰べ頃の色合になるのであります。それを樹の上で熟した消鮮なものだと思ひ込んで生のまゝ

◇幼兒に與へ たりするご婦人方も隨分に多いやうです。十歳以下の幼兒の胃腸は、大人の其と比較して大變弱いものですから、半熟の斯うした果物を食べたりすると大抵は御腹をこわし、劇しい下痢を起したり、一歩進んでは疫痢などになり易いのであります、例へば蜜柑などの皮をむいて與へて置くと幼兒は何時の間にか、除も取らずに袋ごと食べて仕舞ふそして其便の中には蜜柑の袋其儘に含まれて

◇排泄される やうな事が珍らしくない、斯うした母親の不注意から取り返しのつかぬ事になつてしまふ例は幾つもあります。ですからお母樣方は幼兒に果物を與へる時は、何に限らず一旦お砂糖なり牛乳なりで淡泊と煮てから與へるやうにし決して生のまゝ食べさせる事のないやう注意して頂き度いのです。(某醫學士談)

●吉原氏の遺品入札

書生時代に月賦で買つた眞山水

◆鑑賞家に 數へられて居た、此の吉原氏の遺愛品數十點を此程某家の所藏品と共に東京江東美術倶樂部で入札に附する事になり十四、十五の兩日下見會を開いたが古畫に好いのが々の佳品があつた、吉原氏が貧乏時代乏しい財嚢の中から

◆月賦で購 つたと云ふ噂のある周文の眞山水は探幽の外題があつて目錄の巻頭に登載されたがこれ以外にも周文の畫幅が數點あつたのは實に珍とすべきである、探幽印の山水は長は短いけれど好々

◆好い圓樣 雪舟には芦雁の双幅と節殖とあつたが殊に芦雁の方を傑品と見たは節目か、五點も雲谷の作だがソレよりも巧緻にして典雅なる雪舟之助の山水と眞鶴の山同等の山水は共に好事家の

◆目を惹い たやうである、此外元信の寒山、宗丈山の山水、佛畫では呉道子の三尊佛、唐土繪では馬遠の陶淵明、李龍眠の釋迦、陳璞の山水人物など何れも

◆賞鑑に値 し近世繪畫では山陽

◆器玩では 周銅四足爵を筆頭に漢鏡や宋窯の花瓶などが逸品と云ふ評判、佛像にも奈良時代の作があつたが殊に運慶作日天子像、鎌倉時代の無量壽佛、天平時代の二天像の三體が最も注目せられたやうである(東京)

●一家十五人悉く大火傷

人里離れし山中の一軒家の火事

平南成川郡大邱面倉里住民農業徐丙洙(四九)方は部落より遙に離れたる山中の一軒家なるが去る十三日午後二時過便所内より火を發し見る／＼母屋に燃え移り火勢猛烈を極めし爲め折柄留守居せし妻李氏(二七)を初め子女五名は逃げ惑ひ悲鳴を擧げて救を求めたるも遠く人里を離れたる處とて隣より官憲及び村民五六十名が驅付けたる頃には早や火焔に包まれて如何ともせん術なく遂に一戶二棟を灰燼に歸し家人は何れも大火傷を蒙むり殊に妻李氏及び三男全氏は全身黑くたゞれて瀕身を極め生命危篤なり(平壤)

●手紙を覗き見て僞電報

京城黃海道金川郡松洞居住金致三(二七)は黃海道金津郡長山面温泉里金信德が車輛購入の爲め入京し黃金町三丁目下宿屋李學在方に滯在し三月一日資本主なる同郷の金斗衡宛に金百三十圓を送るべしとの手紙を認め居るを目撃し竊かに心なし金信德の名義を冒用して金斗衡宛百三十圓を電送せよとの僞電報を打ち同時に金信德の印章を僞造し之れを押捺し送り來れる電信爲替券を以て光化門郵便局より騙取して遊興したることを鍾路警察署の刑事が探知し金致三を引致取調べの上檢事局へ送れり

●稻積事務官の寄附 平安南道事務官稻積異六郎氏は令息出生の節各方面より贈られたる金全部百圓を朝鮮在職記念として初等教育基金に寄贈する事となり父男爵の内意により其内五十圓を過般來鮮せし關谷學務局長に託し京城幼稚園に殘り五十圓を平壤尋常小學校に寄贈したり(平壤)

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可然親切を旨とし御高需に可應候

京城日報社 寫眞製版部

○木の芽田樂 豆腐を布巾に包み俎にのせて輕くおしをなし水氣がとれたら適宜に切つて串にさし兩面を狐色になるまで燒き木の芽味噌の作りかたは山椒の葉を擂鉢でよく擂り味噌を加へてよく擂り砂糖をまぜ味淋か水かで少しゆるめてから用ひます

總選擧の期日も目睫に迫れり株式市場は此結了後頓に股賑を來すべし來他の繁忙殺裡こそ智者仕込の絶好機會なれ

東京株式取引所仲買人 沖野米三郎

東京日本橋區坂本町十八番地

一、紹介不要 一、證據金規定通り前納 一、送附金聚販會次第

運動會花見行 好い氣候に好い酒

賣元 大塚合名會社京城支店 京城南大門通二丁目 電話四〇番 振替京城五〇一番

香り床しき 金鈴香木

美髪となる 金鈴香油

期米 曾我商店

勸業債券 月賦販賣 各地代理店を求む

希望者は履歴書御送附あれ 東京市下谷區車坂町五十一番地 合資會社 東京實業商會 電話下谷五七七五番 振替貯金口座東京三五六九二番

期米 大阪堂島米穀取引所仲買人 丸山亮平商店 電話 一〇一四 一〇一五 一〇一六

法人登記公告

漣川地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ參百八拾九口拂込ミタル出資總額ヲ金七百六拾六圓ト變更ス

右大正六年四月拾七日登記

京城地方法院漣川出張所

リンネット加工糸

○髀社一手の特許品にして天下一品との定評に候

○擴張工事落成し今後は折角の御注文に背くが如き事斷々無之候

○麻布リンネルの代用原料として從來例なき逸品たるは勿論尚獨特の風味を有し

○内地物輸出品何れにも應用の途多々有之候

○洗色整理其他取扱上に多少の注意を加へざれば好結果を得ざる事あり御注文の節御通知可申候

○實用に適せざる特許權などの蔭に隱れ侵害行爲を企つるは珍らしからぬ事なり斯る不德者に對しては其行動を待ち遠慮なく取締る筈に候

川崎市東神奈川 電話三一二番

薩摩式搗鑛水車金物 薩摩式水車木組 製作

和洋鍋釜 鑛業用具 諸機械類 各種調帶

鑄工業 鹿兒島縣川内町 司新原鍋屋 電略(ニナ) 電話五五番

星の如く清く 星の如く輝きし

スターサイダー スターシトロン スタータンサン スター果實蜜

の甘き香ばしき露は今や鮮滿の野を普く潤せり

製造元 朝鮮京城岡崎町八番地 京城清涼社 電話一四二〇番・振替京城一九二一番

…實弟中西億一(二三)は其後福州地方法院に於て審理中の處三月廿九日同法院に於て無期懲役の宣告を受…商原松太郎方雇人西村貞次郎(三三)は主家の賃金廿八圓餘を横領し尚ほ南門町小林時計店より懷中時計を詐取

汽船上陸客 四月十七日午前釜山入港さくら丸一二等客 上仲…

明君道中記

第百十九席　田邊南龍口演

三國蜀の孔明の言葉に事を爲すは人にあり、成るならざるは天にありとか云つたさうですが、成程事を計るは人にありませうが、成る成らんは天命でございます、斯くまでに秘した本多上野介の謀叛が洩れる譯はないのであるが、それが露見をしたと云ふのも是天命でございませう、茲に植木藤右衛門の娘おいねは與三郎と約束をして家を立退く事にいたしましたが、衣類なぞをさう澤山持つて參る譯にはなりませんそれでさし當つて差支の無い樣に種々取揃へて包を拵へて來るか〱と待つて居たが何時まで經つても參りません滚待草臥れ包によりかゝつてトロ〱とまどろみますと、おいねさんおいねさんと呼ぶ聲、顔を上げて見れば與三郎が血まみれの姿でそれへ參りました故驚いて　いね『オヤお前は與三郎さん、何うしてそんな姿をして』與『おいねさんお前さんの意見に從つて御城内へ歸らなければ宜かつたが、踏つたばつかり捧探始め殘らず御家老樣に殺されてしまひました、只心にかゝるは一人の母眼の見ね不自由な身體、俺が死でしまつたら誰も世話をしてくれる者がありますまい、そればツかりが心配でなりません、縱あつてお前さんと傍らいふことになつたもの故、何うか母の處を何分宜しくお頼み申します　いね『あゝ何をお云ひなさる、其麼事はしないと云ふものではございません』と云ふ内に颯と吹來る風が身に浸みて目覺めて見れば今のは夢、いね『あゝ厭な夢を見た、何ともまア厭なことをするものだ、與三郎さんが血まみれで來るといふは何ういふことか、鶴龜々々、早く戻つて來てくれゝば宜い』と思つて居る内に又トロ〱とすると、同じ樣な夢を見た、何らも不思議でならないと心配をして居る内にとう〱夜が明けてしまふ、拵へて置いた包を他人に見られてはならないからそれを取隱して寢床に入つて居りまする、恰度十五日の朝下女のおしまが其處へ來て　しま『お孃樣〱お起き遊ばせ、小間物屋の忠兵衛が參りました、お誂の品を持つて參りましたから、お起き遊ばせ』　いね『おしまや姿は今朝は洵に心地が惡くつて起るのは厭だよ』　しま『それでも折角あの忠兵衛が持つて參りましたから鳥渡起て御覧遊ばせ、若し御意に叶らないと又呼びに參らなければなりません、待つて居りますから』と云はれておいねも仕方がないから、それならばと起上り支度をして出て參り　いね『オヤ小間物屋さんかへ』　忠『へエお孃樣、今朝はお加減がお惡いさうでございますが、何うも風でも引いたのでございませう、何うも氣候が惡うございますから御大事に遊ばさなければ叶けません、偖お孃樣御誂への品を持參いたしましたが是なれば屹度御意に叶ほふかと存じます』と取出した前插を見ると大層宜く出來て居ります　いね『是は思ひの外宜く出來ました、是なれば結構です』とおいねは右の品を受取つた小間物屋が世辭に世間話しをして居りましたが　忠『お孃樣何うも今日は朝から厭なことを聞きました實に人と云ふものは見かけによらないものですね、私が懇意にして居た人が御城内で斬られました、何うもあの人に限つてよもやそんなことはあるまいと思ひましたが、お孃樣は未だ何處へもお出懸けになりませんからこの噂を御存知ありますまいが』と云はれ扨は最前見た夢が正夢ではないか、御城内で人が斬られたといふが若しや與三郎と思ひましたから　いね『あの御城内で何者が斬られましたか』と顔色を變へて尋ねました

京城本町三丁目 瓦斯會社向側
院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科
芙蓉醫院
電話二六二三番

宮内省御用達
最上清酢
登録商標
MARUKAN
品質及醸造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油株式會社京城出張所
電話二四五番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進 販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目
樽元商行
電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

暦

四月廿日 九星
舊閏二月廿九日 壬辰
本命五黄八方除 赤口

▲五黄 大に議論を生ぜんとす謹で新事見合す方は吉暗劍なし▲六白 剛氣の日轉居旅行人參名弘會談求職移轉婚禮造作出漁等萬吉▲七赤 大概わる日轉居開業移轉名弘會議求職婚姻治外取引移轉萬吉▲八白 引越婚儀の事有る日注意新事手控商業農商は妨なし▲九紫 花の如き日轉居行商入門名弘會件縁組皆勝井戸掘修皆吉▲一白 取捌なき事多き日新事手控居事は吉紹介仲人等を禁ず▲二黒 善を施して反つて笑はるゝ事有る日注意新事手控商事は吉一切のせわ事を禁ず▲三碧 野菜穿園の事有る日新事手控商事は吉女子は行儀を守らるべし▲四緑 一家一變の日なれども新事控目の方吉商事農業妨なし

演藝案内

御成町 御成座 電話一九一
新派異劇静間三郎一行
第一、[illegible] 佐藤紅緑氏作
一、[illegible]
二、喜劇武士と町人 全一場
嵐 全八場
[illegible]

有樂館 早川演藝部直營 電話一一〇〇番
四月十九日より提供の封切特選大名畫
伊太利チネス社作 [illegible]
▲泰西活悲劇「死の陰」全三卷
▲舞ひ扇 全三卷 [illegible]
[illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇
▲女流浪花節 吉田奈良女一行
大阪[illegible]
[illegible]
上 攻文 雄(虎男) 江戸の花、[illegible]
二席(虎春) 雪の曙、明石[illegible] 二席(奈良女)

黄金館 電話三七六二
[illegible]

京城壽町 壽座 電話五七八番
今様能樂家元紫泉會
四月十八日(三日間)午後五時開演
▲竹生島 多田菊次郎 大村[illegible]
▲小袖曾我 [illegible]
▲鉢木 [illegible]
▲紅葉狩 [illegible]
▲御祝言 ▲附祝言
[illegible]

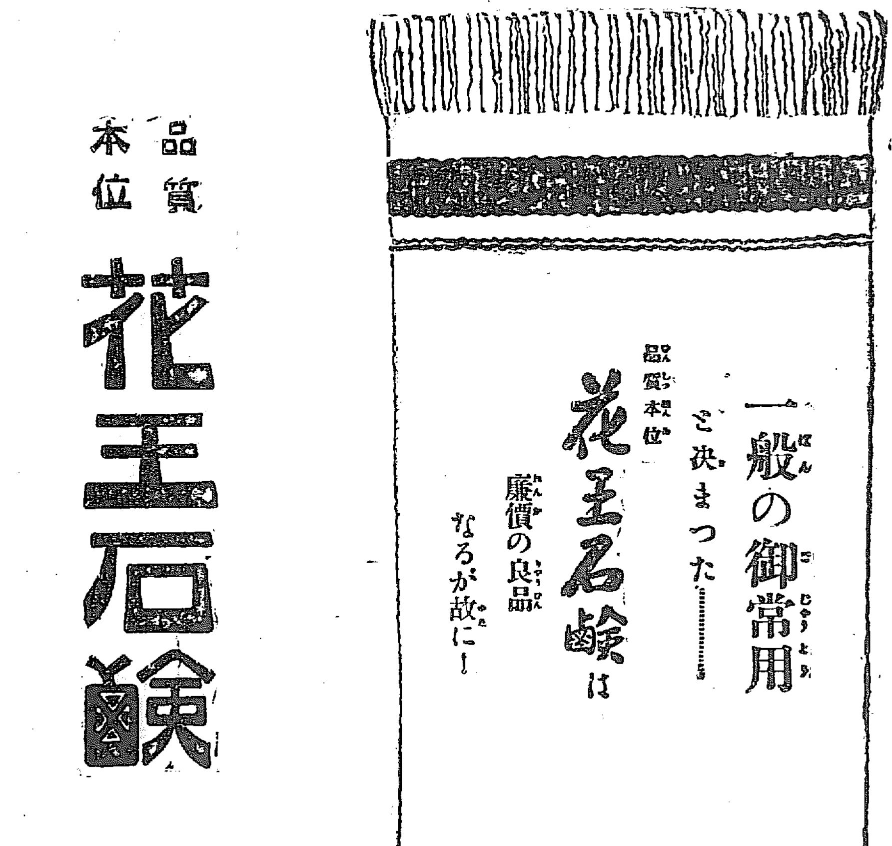
櫻井町 大正館 電話八七三
[illegible]
○滑稽活劇チャプリンの散歩 全二卷
○軍事活劇第七號 [illegible]
○新派悲劇 [illegible]
[illegible]

りん病
消渇で困る方 多年の慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢添一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

女はヒミツに
するから いけない
のは○○○障害である
本病に罹ると人生無上の快樂を全ふする事が出來ず隨つて夫婦の交情は次第に薄く一家の平和を損じ大切な子寶が得られぬ事あれば程に幸な事はない彼の貴人令孃の情夫を構ら不身持するも此病氣の原因が多い又良人の放蕩や妾狂いするも婦妻の○○○不完全が原因することもある故に患者は勿論○○無上の快樂を全ふして樂しく世を送りたい人は大阪谷町一丁目松田豐太郎氏がキで申込み高橋伊藤兩醫學士及本人が多年研究と實驗に基く苦心の結果公にせし唯一の治療書を貰い、せひ一度讀んで置くべき必要があります
[illegible]

品質本位
花王石鹸

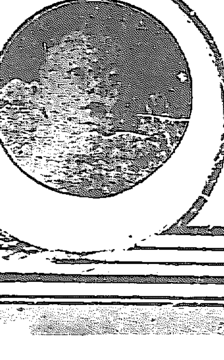
一般の御常用ご決まつた……
品質本位
花王石鹸は
廉價の良品
なるが故に！



現に
帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院其他化學的試驗に依て採用される多くの場所には常に花王石鹸を、化粧衛生の逸品として召さる

ワゾカ一滴百日薫る百花の精の元素香水
今東京で大流行のカゲンソ香水一丁先でも薫りで知れる元素香水つけた人とは一般の定評なり全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は直接本舗へ郵便切手代用御送附あれば送品す送料内地八錢海外廿錢ゲンソ液元素香水本舗東京神田和泉橋際松本藥店
小瓶三十錢 中瓶六十錢 大瓶金一圓 特大金二圓

五大博士が證明せられた
一等よい婦人藥
命の母を
召せば……子宮血の道夢と消へ
やがて嬉しいコンナ子寶
婦人病者の心得
増田博士、北島、佐藤、西尾、三田博士共著
島本はアナタでもハガキにて東京京橋南傳馬町命の母本店に申込めば無代進呈す



定價 試用 二日分 七日分 二週間分 五週間分 廿錢 八十錢 一圓五十錢 三圓
知識會の母 五日分 十日分 三十日分 二ケ月分 八十錢 一圓 三圓五十錢 五圓
島國信用藥店にあり
(6—3)

汽車發着
[illegible]

京城日報
四月十九日（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　一箇月金五十錢……
發行所　京城太平通一丁目　合資會社 京城日報社
發行兼編輯人　奥田直
印刷人　小川三之介

第三版

露國 二大勢力接近 講和促進派微力

革命後の露國政界が自ら過激派と温和派との二大潮流に區分せられて國體問題及び戰爭遂行問題に關しても各々其の見解と主張とを異にせるは掩ふ可からざる事實なり即ち勞働黨並に社會黨等の支持により勞働者千人、兵卒一中隊毎に各一名宛の代表者を選出して組織し現にチヘーゼンを會長とせる彼の勞働者兵卒代表者會は過激派を代表總括する一大勢力にして立憲民主黨の主たる發起により成立せる國民自由團は温和派を代表統一する他の一大勢力たり尤も勞働者兵卒代表者會と國民自由團との主義方針として決して固定不動なりとは稱し難く孰れも

△變遷動搖を見 つゝあるものゝ如くなれども大體に於て前者は國體問題に對して極端なる共和論を就し戰爭遂行に關して領土の總併を否認せんとするの風あるに反し後者は最近迄に共和の宣言決議を發表したるにも拘らず孰れかと云へば漸進主義を持しダーダネルス海峽及び君府は之を露國の手に收めんとするの希望を有せるが如し而して假政府部內に在りても外相ミリユコフが國民自由團に出席し君府占有の必要を說けるに對し法相ケレンスキーが勞働者兵卒代表者會の領袖格として右外相の言明を『外相一個の見解にして決して閣議の決定せる處のものに非ず』と聲明せる等閣僚の間必ずしも意見の一致せるものなきが如く却て上記の二大勢力は互ひに

△假政府を左右 せんと試み革命に功勞ありたる勞働者兵卒代表者會の勢力殊に偉大なるやに觀ぜらる而かも國內二大勢力の暗鬪昂じて萬一公然の激爭ともならば所謂革命の反動として由々しき大事を釀し延いては漁夫の利を官僚乃至親獨派の餘孼の爲めに占めらるゝの虞なきに非ず是れ露國假政府の最も憂慮せる處にして二大潮流の融和に關しては最善の努力を試みつゝあるものゝ如く最近假政府の發表したる宣言の如きも亦此の意味の調停策なりと解せらる而して其の結果は案外良好にして過激派と温和派とは近來漸次接近の兆あるが如くなれば決して大なる破綻を暴露するが如きことなく大體順調の推移を觀るべしと信ぜらる尙ほ露國內社會黨が獨逸社會黨との間に氣息を通じ講和の促進を計りつゝあるは事實にして之れが仲介の勞を執れりと解せられつゝある瑞典社會黨の代表者は最近獨逸に其の社會黨を訪ひ引續き英國を經て露國に到らんとし

△切りに奔走を 試みつゝある模樣にて最近外在所報の如く勃牙利若くは墺匈國內にも亦た講和促進の希望切なるものあること推測に難からざれども英佛に於ては勿論露國內に在りても此際直に戰爭を中止せんとするが如き主張は單に社會黨の一部に於てのみ唱へられつゝある而にして其の勢力至つて微弱なれば到底大勢を支配すること不可能なる露國の國體問題が果して能く戰爭繼續中に決せらるゝの運びとなるや否やは尙ほ容易に斷じ難きも獨逸社會黨若しくは獨逸政府の露國攪亂、講和促進策が容易に其効を奏せざる可きは論を俟たざる所なりと觀測せらる

有望なる歐米向鯖鰆輸出
鯖魚の加製品需要高一億萬圓 乾鰆類の需要高八千萬圓以上
總督府技師 庵原文一氏談

鹽鯖、鯖油漬、鯖ボイルド及び乾鯖、鯖肉壓搾品等の水產製品は從來歐米其の他の諸國に於て多大の需要あり鯖は米國、諾威等を主產地とし各國の總生產高約一億萬圓と註せられ、鰆は諾威、ニユーフアウンド、加奈太、北米合衆國、丁抹、英、佛等の諸國に生產多く其の總高約八千萬圓を算せり、我邦に在りても鯖の如きは內地沿海及び朝鮮沿海に饒產し、鰆は北海道、樺太、朝鮮等に於て漁獲あるは世人の熟知する處なるも未だ歐米向輸出品として成立するに至らず只だ其の有望なるを知りて或は見本を送り或は試驗的に之を製造するものあるに過ぎざりき、然るに歐洲戰亂は諸國の漁事に對して亦た

▽多大の影響 を與へ今や平時の如き經營を爲す能はざるのみならず其の漁事は概ね遠洋的漁業組織なるを以て交戰國の海上封鎖及び潜航艇の跋扈等に依り出漁意の如くならざる結果、供給忽ち不足を訴へ殊に軍食の一部として平時以上の需要を喚起せるより價格の如きも平素の二倍以上に昇騰し上下當惑を極め居れりといふ、狀況斯の如くなるを以て是等諸國の水產販賣業者は遂に其の供給を我邦に需めむことを欲し其の向々に對して交涉する處あり就中バンクバーに本店を設置しシヤートル附近其の他に支店を有せるローヤル、フイツシユ、コンパニーの如き有名なる水產商會は三井物產、大北漁業商會、東京輸出食品會社、横濱、神戶水產貿易商等の重なる水產

▽事業の開設 を慫慂し來り此等の商店亦た之れに應じて近く實現の運びを見むとするの情勢に在り惟ふに我朝鮮の如きは鯖、鰆漁業逐年發達を告げ昨年中の產額鯖約三千萬尾價格百五十萬圓、鰆約二千萬尾價額凡六十萬圓を算せるのみならず開發の餘地尙ほ甚だ多く而かも現下の價格は鯖一尾平均五錢、鰆一尾平均三錢てふ安價なるを以て之を歐米向に製造するは最も策の得たるものと謂ふ可く彼地方現在の價格を標準とせば少くとも三倍以上の高價を得可し、昨今朝鮮に於て此の種の輸出製造に着手せるものは鹽鯖に在りては山神組、林兼組、鯖油漬鑵に在りては東京輸出食品會社、乾鰆には大北漁業商會及び神戶北機商店等なるが今後何ほ續々企業するものある可く

▽國利民福上 洵に祝福の至りなりとす、然るに茲に注意す可きは單に鹽鯖、鹽鰆又は乾鰆といふも歐米人の嗜好は格別なるものありて其の種類、截割法、鹽質、其の他の製造方法中從來內地人又は支那人の需要に供せしものとは其の趣を異にせざる可からざる點あり、在來の如き簡單なる方法にては不向なるのみならず其の取扱は淸潔叮寧を要し且つ特に新鮮なるものを選ぶと共に大小の區別を附するを肝要なり、而して常に製品を一定し容量、荷造、價格の統一を期し、苟くも粗製亂雜に傾き若くは競爭の爲め價格を賣り崩す事市場の信用を失するが如き行爲ある可からず、各自互に警戒保護して以て永遠の利益を保存せんことを努むべきは此等新事業の勃興に際して經營者の特に留意す可き事項なり

滿洲の製粉業
其の經營は頗る有望

滿洲に於ける機械製粉の消費額は一箇年約七百二三十萬袋にして內四百二三十萬袋は南滿洲にて又三百萬袋は北滿洲に於て消費せらるゝに拘はらず之が供給者として南滿洲に在る工場に一箇年約百四十萬袋を製出する滿洲製粉會社と約二十五萬袋を產出する吉林製粉會社の外見るべきもののなく北滿洲にありては哈爾賓及び其附近の製粉會社に於て約四百萬袋の製粉能力を有し其三分の一を

△南滿に移出 して以て辛くも輸入粉に對抗せしが大正三年八月歐洲戰亂勃發以來米國粉の輸入杜絕し上海漢口粉も亦南支南方面の需要に逐はれて滿洲に輸入し來る者殆どこれなく今や滿洲製粉界は滿洲產製粉によりて獨占せらるゝに至れり故に此機に乘じて更に滿洲に新なる製粉事業を企畫し滿洲製粉會社の缺陷を補足するの方法を講すれば徒らに色澤のみ純白にして粘力に乏しき米利堅粉の戰後に於ける

△輸入を阻止 するは必ずしも難事に非るべし目下南滿洲製粉界に雄飛しつゝある滿洲製粉會社は鐵嶺と長春とに二大工場を有し大正四年中に於ける本社所在地たる鐵嶺工場に於て製出三十七萬四千三百袋此價格八十九萬八千三百二十圓、長春工場に於て百十一萬三千袋此價格二百八十二萬五千圓を生產し又千金寨製粉所は四千八百二十石此價格三萬三千六百九十九圓を產出し在北滿の露國製粉會社より一年約五百三十萬封度の麥粉を供給するも尙大正四年度に於て旅順、大連、金州、貔子窩其他の諸港を經て關東州に輸入せし麥粉のみにても百五十五萬五千八百六十三海關兩に達せしは勿論大正三年に於ける南滿洲消費麥粉の

△生產地別を 見るも米利堅粉は八十六萬五千九百六十四袋、上海漢口粉は八十七萬九千百六十袋にして鐵嶺粉は九十六萬八千三百十袋、哈爾賓粉は三十九萬九千五百六十袋てふ割合を示し大正三年の全消費額三百二萬二千九百九十四袋の半數以上は米國及び南支の供給を待て居り尤も此兩者の製品輸入は最早杜絕せる結果鐵嶺製粉も著しく產額を增加せしと雖も未だ大正三年度の米利堅及び上海漢口粉の輸入額にすら及ばざる有樣にあり（未完）

春は今將に酣である、百花は爛漫として妍を競ひ、艶を誇る。自然は吾人を招いて、思ふ存分、此の陽春の行樂を、恣にせしむるに任す。天の我に與ふるもの、誰か進んで、之を受けざらんや。我社は此の時に當り、聊か江湖諸君、平生の厚意に酬ゆる爲、左の日割を以て、最も趣味あり、有益なる、計畫を行はんとす、幸に諸君の振つて、御贊同あらん事を希望す

四月二十二日（日曜日） 北漢山登り
讀者各位の御希望により昨春の城壁廻りの連絡として京城近郊探勝の意味に於て北漢山登りを催し山上名士の講演ある筈です

時日會場未定 名士講演會
大谷光瑞伯隨行の南條、村上兩博士が特に講演せらるゝ事になつて居ます

五月六日（日曜日） 水原の探勝
水原に吉野櫻の多い事と名勝古蹟の多い事は曾て代表的の景色として第一銀行の紙幣にも其の景色が出て居たのでも判ります諸君と共に此の春の一日を家族的に最も面白く愉快に遊び暮さうと云ふのであります

以上計畫の詳細な事は、其の都度紙上で發表する事になつて居ますから其れをお樂みに願ひます

京城日報社
每日申報社

蠡湖零話（七）
山縣生

犬の人命救助

獨逸のテーグリツヘ、ルンドシヤウ紙の報ずる所に據れば、開戰以來今日迄獨逸の救護隊に屬する犬の爲めに負傷したる將卒及び兵卒の生命を助けたる者の總數八千名に及ぶといふことである。此等の犬は堀濠、塹壕、其他衝擊兵の近づき難き場所に倒れ居る負傷者を發見すべく常より訓練しあり、若し此犬の助けなかりせば右の八千名は必ず鬼籍に上りしなるべく、右八千名の中二十名は英佛露の將校及び兵卒なりしといふ。犬も此やうに使用せば眞に人の爲をせど、京城の犬の如く放し飼にしておいては、人家の臺所から魚肉を盜み、塵溜を顚覆させ、菜園を荒して人に迷惑をかけるばかりか、のみならず、狂水病の流行に當り、往々咬傷さるゝ子供が少なからずある此等の犬に對し何とかもつと有効なる取締りが爲て欲しいものである。

日報詩壇

○明太魚（限韻） 笹島紫峰
日魚尺餘大、非是釣河江、漲滄海中物、鮮于豐庶乾、製最所賞、產饒箕子邦、成堆積、垂涎人絡繹、佳辰休沐日、膾盾打、活火巧爲烹、獻酬酒千缸、食進其風嗜、好倘吟窓、未忘明太魚。

美入夢、何必尺鯉雙。

○祝杉洲將軍誕辰入其自祝韻 險韻筆自在 大久保晩香
[illegible]

鷄林同人會第九回詠草（四）
井上涵泰先生點

鏡　九野 ［illegible］
うしろにも人のあるかと幼子のうらなかへして見る鏡かな
富士の根の高き姿をさかしまにうつす鏡ぼあしのみづうみ
大神のお前にかくろます鏡いのる心をうつすなるらん　渡邊啓次郎
そのかみをうつしても見んこまの世の古き鏡に

依然動かず
……大阪……十三圓〇二錢……
米價合會
十八日の六月限
四月限　五月限　六月限
[illegible]

大町桂月先生著
（最新刊）
大町桂月先生の添削特典を得る天下唯一の作文書
模範作文講話
四六版箱入特美本　紙數五百八十餘頁　定價金壹圓拾錢　郵送料八錢
本書は現代文章の大家大町桂月先生が最も新しく最も分り易い方法で課題を小品文書簡文叙事文抒情文等に分ちて一々説明を加へ例として先生の名文を掲げ諸大家の傑作を添へてあります故に作文に志す諸君は本書を一讀すれば文章の眞義が解り立派な文章が自由自在に書く事が出來ます
特典　本書に添削券拾回分を添ふ有效期間無期限
壹萬部限特價壹圓拾錢郵稅八錢
東京神田表神保町 止善堂
賣捌 京城本町 大阪屋號

ダンス化粧液
烏を鷺に黑人を白哲人に化する程の即効はなくとも天賦の容姿に一層の美麗を添ゆる事は誓つて保證致します
定價 大瓶五十錢 小瓶三十錢
京城明治町 代理店 月本商店
發賣元 東京馬喰町三ノ六 荻村彌三郎商店

タイヨー萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
發賣所 京城日報社代理部
京城大平通一丁目 合資會社 振替京城三〇〇番

兎角今迄のお菓子に御飽きの方に
もつと新らしい
珍らしい弊店の名菓
衛生飴……高麗飴
高麗の霞（一名五色九重）……ウエーファー
シヤムペン……マカロン
タアピー……其他いろ〳〵
を御勸め致します
（御注文次第見本御屆け致します）
內外製菓 卸小賣商
京城本町四丁目
門田朝鮮堂
電話一六八六番
振替京城三三四一番

◎土國米船に退去命令

アムステルダム來電に曰く君士坦丁堡よりの電報に依れば土耳古政府は米國警備船スコーピオン號に對し二十四時間内に同港を退去すべく然らずんば抑留する旨命令したり（紐育電報）

◎墺帝の親露意見

露國は最早戰ふの必要なし

アムステルダム來電＝墺匈國皇帝は自ら主張する所と露國の主張する所と衝突せざる事を確信す蓋し露國は唯だ其の國民の自由を保護せんが爲めに戰ふものなりと聲言したればなり。露國は最早戰ふべく餘儀なくせらるゝの地位に居らず、故に國民の自由保護なる目的は中歐同盟國と露國との間に意思の疏通を成就せしむるに何等の妨害ともなるべき害なし殊に墺國皇帝は其聯合國皇帝と意見を同じうし將來露國々民と平和親交を保たん事を切望するに於てをやと言明したり（倫敦電報）

◎墺國政府の陳述書發表

露國に對する講和提議と見る可し

アムステルダム來電＝墺國政府は事實上露國に對する講和提議とも見るべき陳述を公表したり右は墺國政府は四月十日を以て公にされたる露國政府の宣言書に依り露國も亦墺匈國と同じく名譽の平和を希望せるを知りたりと言ひ露國宣言書中に露國は他國民を制御せんと驅ふものにあらずと言へるに對して陳述書は其の宣言の感情に適合せる意を表し故に墺匈國も露國と等しく名譽の存在を保障したる平和及び交戰國間に同意の機運促進に向つて努力しつゝあるものと謂ふを得べきなりと言へり（倫敦電報）

◎露國五將軍逮捕さる

土耳機斯坦總督クロパトキン氏其他四將軍は土人より攻撃を受くる場合防禦に當つる名義の下に煽動的趣意を以て露國人に兵器を分配したりとの嫌疑に依り逮捕せられたり（倫敦電報）

◎佛獨戰線の大砲戰

佛軍敵の第二線に突入す

佛軍はオアズの南方バリシス及びクキン、シー、バッセカンの高原に於て南方に向つて進出を繼續せるがソアッソン、ランス線を含める全線に亙りて夜間最も激烈なる砲戰行はれたり。ローレーン、アルサス方面に於ては佛軍砲兵は猛烈なる準備砲撃を加へたる後佛軍の數個支隊は直に同地點に於て戰線に突入しアルサス平原に於ては敵の第二線に到達する事六哩前方の地點に及び敵に多大の損害を與へたり（倫敦電報）

◎ヘーグ軍益々前進

ヘーグ元帥の公報に曰く我軍はアールジュクールの東南なるヴィルレーの村落を獲取してランスの西北に前進したりルーブアン及びスーシエー河岸に於ける我鹵獲品は頗る甚大なり（倫敦電報）

◎佛軍大攻撃開始

十六日佛軍司令部附路透通信員の所報に曰く佛軍は愈々大攻撃を開始したり（倫敦電報）

◎エーヌ戰と獨逸公報

四月十六日午後發表の獨逸公報に曰くアラスに於ては殆ど戰鬪なし十日間に亙る蓄集射撃の爲め佛軍はエーヌに於て我が戰線を突破せんとの遠き將來の目的を以て大攻撃を開始したり我が戰線四十粁米突に對する佛軍の正面攻撃行はれ我が最前衛陣地周圍に於て激戰進行中なり（倫敦電報）

◎黄金波打つ米國

旅客がおしやれ

…ると物悉が築殖に出來て人目を驚かせ紐育に來ると一層其成金氣質…[illegible]…を漫遊する事が出來ない者だから旅人の群が各ホテル…[illegible]

▲館の内外に充ちて午後な…[illegible]

▲七八那行速度…[illegible]

◎英軍九日以來の戰利

ヘーグ元帥十六日夜發表の公報に曰く、九日以來我が軍の得たる捕虜は一萬四千餘名にして鹵獲砲數百九十四門に達せり（倫敦電報）

◎張督反對

宣戰を危險とす

張督軍の對獨參戰意見は宣戰を危險とし現狀維持を萬全を爲すに在りて是を政府に電告し督軍會議には出席せず楊參謀長を代理として派遣せり（奉天特電）

□天覽武術試合

武術御獎勵の思召に依る近衞、第一兩師團將校の天覽劍術試合は十八日宮城内吹上御苑に於て舉行せられたり試合は大内近衞步兵第三聯隊長審判の下に開始せられ步、工兵科の一本勝負軍刀術、銃劍術、騎兵輜重科の片手軍刀術等何れも勇壯に行はれ　陛下には一々御熱心に御覽あり終つて一同に茶菓を賜はり猶ほ二十九日第二師團管下の將校二百五十餘名の武術を天覽あらせらるゝ由（東京特電）

◎内債發行計畫

金融調節の爲め

政府は貿易の趨勢に鑑み内地金融調節の爲め不日銀行家と交渉を開始し内債發行の擧に出づ可く其の額は五千萬圓見當ならん（東京特電）

◎樞密顧問補缺

黒木伯及有地男

淸浦奎吾子副議長に就任し黒田淸綱子逝去に依り樞密顧問官に二名の缺員生じたるが其の後任は愈々黒木爲楨伯有地品之允男に決定し既に御裁可を經たる由なれば一兩日中親任せらるべし（東京特電）

支那遍歴

中島生

南京より上海

南京より以往、下航するに從つて、長江は益々其の大を成し、兩岸の風物漸く悠々たり。岸平かに、山遠く、菜花麥浪、春色は行いて極まる所を知らず、春風は吹いて無限也。楊柳の嫩芽煙るが如く。水邊の蘆草伸ぶること寸餘、其の綠甚だ濃かに、遠く之を望めば絨氈を布けるが如く、水牛幾百、幾千、其上に群れ遊ぶ。時に高塔の古色を帶びて岸に聳ゆるあり、誰が家の少年ぞ、塔頭に紙鳶を飛ばす。

午後鎭江を過ぐ。市街は長江の南岸に在りて、江蘇省に屬す。人口約三十萬と稱せられ、江北一帶の産物は總て此地に集まる開港地にして、汀運の便あるが上に、南京より上海に到る滬寧鐵道の要衝に當る。鎭江は焦山の風光、甘露寺、金山寺等の古刹を以て、世に聞ゆ。而して古へ隋の故郷を以て、將た佳人の産地を以て有名なる揚州は、此處より程遠からぬ運河の岸に在りとぞ。

此夜我が鳳陽丸は最後の晩餐なりとて大に凝つた御馳走を致し候。美麗なる献立表を當業者を客の記念に供せり。韓相龍氏等は南京より下船して陸行したれば、此船に殘りて上海に赴くものは四名の人に過ぎざれども、殆ど家族の如く、打寛ろいで快興致候。鳳陽丸は三千九百餘噸の大汽船にて、關釜連絡船の高麗新羅よりは噸數多く、客室食堂總て最新式の贅を盡し、殊に江上を行く事なれば、如何に風强くとも微動だもなく、恰かもホテルに在る心地にて數日を要する更に飽くことなかる可き也。長江上に泛ぶ各國の汽船は其數多しと雖も、此船の大と美に及ぶものなし。而して日淸汽船會社は上海漢口間に南陽、襄陽、岳陽、大貞、大利、大吉等の汽船を使用し、長江航路の覇權を掌握し居れり。

翌二十六日の朝目を醒ませば、船は江流海の如き處を進みつゝあり。兩岸山を見ず。岸は江心より遠く隔たりて、殆ど線を劃するに過ぎず。水は靑天に合して流れ、山は平野に從て盡く。芳草野色、最早や視界に捉ふること能はず。只だ南風の歸心を吹くあるのみ。

午前十一時頃には將に揚子江より黃浦江に入らんとす。右に呉淞の砲臺を望みつゝ、船は針路を轉じて、悠々上海港に向ひ進む。黃浦江は幅三町乃至五町にして、艦船の往來繁く、航路は可なりに窮屈也。上海に近づくに從ひ、江を挾んで所在に工場、棧橋、船渠、倉庫等を見る。道が東洋一の大港たる上海の關門は盛觀目を驚かすに足る。

船中に於て午餐を喫し畢るか畢らざるに、船は早や上海郵船碼頭に著し錨を下しつゝあり。時に午後一時也。高樓大厦相重疊して、バンドの光景は宛ら西洋也。三井物産の近藤氏等の出迎を辱うし、直ちに旅館豐陽館に入る。

◎航米艦出帆期

米國大使ガスリー氏の遺骸護送の爲め航米に決定せる帝國軍艦吾妻は愈々來る二十七日横濱出帆に決定せり（東京特電）

◎廣島選擧違反

廣島縣郡部憲政會公認候補者瀧口了信氏は選擧違反の廉を以て十八日拘引せられたり（大阪特電）

◎立花中將歸任

第十九師團長立花中將は十八日夜入港の壹岐丸にて釜山著同十一時發列車にて歸任す（釜山特電）

◎中島憲兵大佐赴任

新任全北警務部長中島憲兵大佐は自動車にて午後五時三十分全州着　官民多數の出迎ありたり（全州特電）

◎鮮鐵荷動狀況（前承）

三月上旬に於ける

▲大豆　院線内輸送力不足による發送制限のため大部分内地移出なる本品の出荷數は毎旬大差なく三、四千噸を上下し本旬に於ては三千六百十一噸を出荷せり而して前旬來内地直通移出は漸次減退し釜山打切りとして輸送せらるゝもの著しく增加したり即ち前者は千七百九十五噸（四割[illegible]）後者は千五百五十四噸（四割三分）の割合なり

▲豆粕　需要期節なれば荷動依然好況を呈し一日平均約二百噸を出荷せり其大部分は内地移出にして當局線落は僅々九十八噸とす

▲雜穀　荷動き引續き好況を呈し特に黃州、興永、沙里院發小麥、粟及び安東縣發小豆等の荷動盛況なり尙滿洲粟の輸入は逐旬增加し本旬に於ては前旬に比し倍加し四平街遼陽等發南大門元山著計四百五十九噸を算せり

▲鮮魚　朝鮮東海岸に於ける鰊の豐漁に加へて浦鹽鰊の入荷あり荷動依然活況を呈せり總數千七十八噸中釜山發五百十九噸元山發二百八十七噸を主なるものとす

▲生牛　引續き相當取引行はれ總數二百四十一頭を出荷せり内三頭を除きては全部内地移出にして大田、水原、成歡、論山發木浦行出百九十頭大田、議政府發釜山驛行出四十八頭

▲苗木　季節の關係上荷動益々盛況にして總數四百六十三噸を算せり主なる發驛は往十里を最とし水原、永登浦等之に次ぎ外に陸續名古屋附近より移入され居れり

要之本旬の貨物運輸は依然好況にして石炭、米、鹽の荷動衰へざると共に需要期に入り木材、大豆、豆粕等の出荷頗る殷盛なりしを以て豫期以上の成績を擧ぐるを得たり（完）

◎製煙貿易好況

本年二月中に於ける鮮内製造煙草の輸移出額並に製造煙草の輸移入額を見るに先づ

▲輸移出額　に在りて口付紙卷煙草一千百八十八萬四千本、兩切紙卷煙草二千二百四萬五千本、刻煙草六百十二貫目此の價格合計十萬五百二十七圓を算せり。而して一月以降の累計は口付二〇、二八四千本、兩切三六、九六三千本、刻九一二貫目、此の價額總計十六萬三千四百四十九圓に達し之れを前年同期間の輸移出額四萬八千三百八圓に比すれば十一萬五千百四十一圓即ち廿三割八分の激増を示せり、今之を輸移出地別に示せば左の如し

製造煙草輸移出地別表

地名	二月	累計	地別	二月	累計
安東縣	七、九三一圓	三[illegible]、九三一圓	上海	二、五四〇圓	一七、五六〇圓
撫順	—	八二一	大連	四〇、六〇七	六八、七〇四
遼陽	四三二	四三二	間島	四、九二五	八、三二五
奉天	三、五〇〇	三二、一〇九	琿春	六〇六	一、八〇〇
青島	[illegible]	二〇、一三六	本溪湖	三三五	三三五
芝罘	三、三三二	三、三三二	其の他	一三五	[illegible]

製造煙草輸移出者別表

輸移出者	二月	一月以降累計
東亞煙草會社	四七、四六一圓	[illegible]
朝鮮煙草會社	五一、四七〇圓	八六、三三〇圓
全山煙草會社	一、五三三圓	一、七三三圓
其の他	[illegible]	[illegible]
計	一〇〇、五二七圓	一六三、四四九圓

▲輸移入額　次ぎに二月中に於ける製造煙草の輸移入額は口付紙卷煙草三千本、兩切紙卷煙草三十二萬八千本、葉卷煙草六萬八千本、刻煙草二十九貫目、此の價額合計一萬五千八百三十八圓弱にして一月以降の累計は口付一〇千本、兩切九五六千本、葉卷九五千本、刻五一貫目、此の價額總計三萬二百三十二圓餘に止まり之を前年同期間の輸移入總額一萬八千四百十四圓に比すれば一萬一千八百十八圓即ち六割四分の增加なるも前述の輸移出額に對比すれば入は出に及ばざること遠く製造煙草の貿易狀況は月を追ふて極めて良好の成績を擧げ來れるを知る可し

◎河川敷占用許可

漢湖農工銀行江景支店にては從來忠南論山郡江景面の鍋江支流江景川に臨み當所に石段設置を計畫し願中なりしが今回十一坪を面積として河川敷占用の件其筋より許可ありたり

◎堰堤新設許可

黃海道黃州郡に於ける黃州川を利用する堰堤は灌漑用として矚目されつゝありしが今回朝鮮興業株式會社の新設出願に由り其筋より許可ありたり

◎適齡者と旅費

京城府在住民にして徵兵檢查等兵事に關し旅行せんとする者にして旅費に差支ある者に對しては之れが前渡を爲すべきに付き京城府會計課に出頭の上手續を承合せらるべし

◎自動自轉車と課税

從來自動自轉車に對しては自轉車と同一の課税を爲し來りしが今回京城府にては右に對し一箇年十二圓の課税を爲すに決せり

◎支那交通次長消息

日支鐵道連絡會議第五回祝賀會に臨席の爲め東上中なりし王支那交通部長其他一行二十七名は二十日夜入港特別連絡船高麗丸にて釜山上陸同夜十一時發列車にて北京に直行の筈也と（釜山）

人事消息

▲荒蒔林次氏（帝國生命保險京城支店長）十八日夜入京
▲土谷共治氏（北海道遞信局長）同上
▲宮井良三氏（小野田セメント社長）▲[illegible]氏（同技師）同上朝鮮ホテルへ
▲赤間嘉商務部長　十八日夜入京
▲山本平北警務部長　同上
▲白井永毅氏（醫學士）十八日入京[illegible]

南言北語

米國の新聞に匪賊の上に金貨を一杯積み上げたら食ふものがないと手持無沙汰で控へて居るポンチ畫がある▲なる程米國が協國作戰に這入つてドシ／＼金を送つても兵隊がないから駄目だ▲聯合軍の方では九千萬發の砲彈の準備が出來て居るさうだが勇兵が集つて來ないから砲彈を射ら出す事が出來ぬと云ふ意味らしい▲一體物事は順當に行けばトン／＼拍子で行くが鳥渡ぐれ出すといきになると其處此處へ引つかゝるものだ▲露國だつて革命後主戰論でも盛になるかと思ふと却て平和論が盛になつたぐれ出すと云へば先達獨帝の原著だと銘打つた『朕が作戰』と云ふ書籍が出版されて居た▲擧つて興味ある讀物として樂んだ中には天下の名士も頗る多かつた▲陸軍などでは態々原著を佛蘭西へ迄注文してやつた▲佐藤海軍大學長や大角海軍省高級副官などは職務柄眈讀者の一人であつたが▲其れが不德者の僞名僞造である事が判ると眞ッ赤になつて書物を床に叩きつけ女中を呼んで『オイ之れを燒て仕舞へ』▲アー暖になつた杏が咲いた櫻が咲いた木々の梢は翠に▲遠近の山々峰々に春霞の樣に鑵のかゝつた處はお誂へ向の花袋▲春、春、春に限る人生も春に限れば自然も春に限る▲何事ぞ花見る人の長刀花の前では七むつかしい理屈は不粹だ▲むつかしい理屈を捏ね返して居たら言子などは春の神樣から罰を被つて忽ち齒が痛み出した▲サアサ遊んだり／＼

大邱支局變更

支局長　佐々本靈導
支局附記者　北川一

本社大邱支局長上田獻心氏辭任に付右の通り新任致し事務開始致候間此段同方面之愛讀者諸君に謹告仕候也

四月十七日
京城日報社

◎第二回農工債券償還公告

債券ノ種類　隆熙二年（明治四十一年）十二月廿五日發行甲號拾圓券
償還金額　拾萬圓全部
償還債券ノ番號　第一號ヨリ第一〇、〇〇〇號迄
元利支拂期日　大正六年四月廿六日
支拂期日迄ノ利息ハ償還ニ付金弍拾參錢參厘
支拂場所　當行本支店　管内各農工銀行本支店
右公告ス
大正六年四月十七日
株式會社　漢湖農工銀行

雨京去留誌

鶴峰學人著　平福百穗、山下均、鶴田條村、柳田謙吉、前川千帆（五氏畫）
四六版總クロース　插畫寫眞三十二種　定價金壹圓五拾錢　郵稅十二錢

著者の東京、京城間を往來する其の度毎に感興ある新鮮にして、其の秀逸の觀察と獨特の筆致を揮つて、而も其の往來間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し、人物躍如たるもの、或は途中過眼の光景を記したる所、或は隨目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨なる小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の金允植子の人物と文章を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して、眞に文の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め、諸畫伯の揮毫は畫に臨んで描く所、皆な眞に適るの妙あり、實に淸雅高尚にして、最も讀書に適し、旅行等の好伴侶として、最も近時の好著述たり

賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
賣捌所　京城日報社各地支局

各種萬年筆即時修繕　京城旭町二ノ六　東京パイン萬年筆出張所

謹告

從來京城黃金町一丁目二百十番地に株式會社東都興業銀行朝鮮總代理店と稱し當行債券部の事務を取扱ひ來りたる處都合に依り先般朝鮮總代理店を廢し總ての事務は本行直接取扱居り候に付御購買者諸君は御安意被下度且つ御用の節は直接本行へ御照會相成樣奉願候爲念此段謹告仕候也

大正六年四月
東京市日本橋區本石町四丁目十一番地
株式會社　東都興業銀行債券部

鑛山用測量諸器械　京城本町　シンサキ

東京久月總本店製　五月節句飾品　大賣出し
京城本町一丁目（當郵便局前）　教育玩具商　卸小賣　北陸堂
電話二四八七番　振替京城一二〇八番

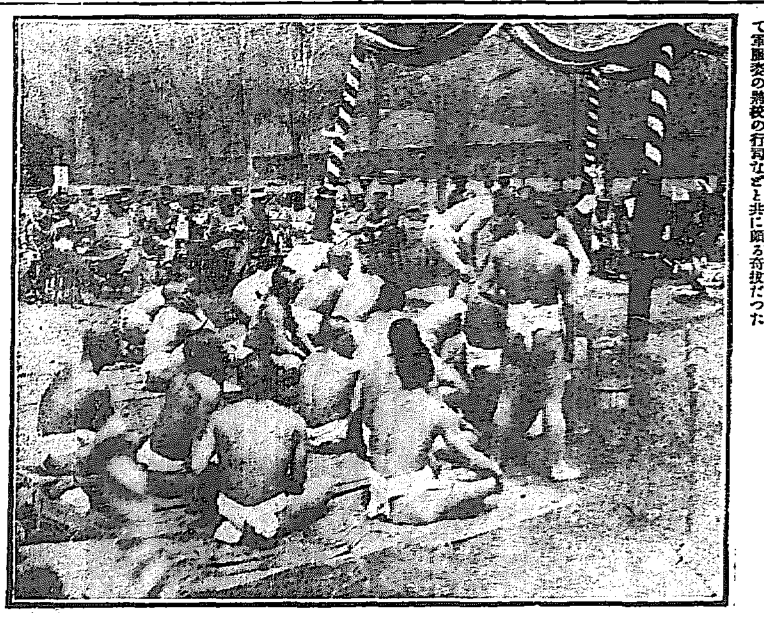
帝國製麻株式會社製品　東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店　京城府龍山元町二丁目五十七番地　村松武八商店　電話二六番
營業種目　麻、綿、ズック、ダック類販賣　和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負　天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
特許品（木材防腐劑）　クレオソリーム　クレオソート　東洋木材防腐株式會社製

价川輕便鐵道　列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、二二	四、三七	七、二八

……てゐる最近歸朝者は語つて曰ふ「桑港の埠頭に降りて顯太市俄古に來……のでゐる、……番の國大將で近頃になると其富を各州の百姓連に迄及んで來た、處が斯……なければ紳士淑女の恥をされてゐる「ヨルトマーなる廿一階樓の旅館に行李を下ろしたが連日宿泊を熱望する……は七年前渡來した時とさまで……僅々二三割位と思つたが食料に至つては殆んど倍以上となり其一例とし……（二十錢）又雞、雞の肉一皿が一弗二十五仙、雞が二弗五十仙と云ふ迄で……度として婦人は醜い服の遠く樣な網で……の上衣一枚、靴下も穿いたゞけが誇り……で喫中とッポドローみの……で帽子取りの水中を泳いだ……出し……の內堂里村百六十一番地山本

◆軍旗祭の餘興角力



步兵第七十八聯隊の軍旗祭は夕刊所報の通り盛んなものであつたが午後一時から營庭に於て同聯隊兵士の角力爭霸マラソン競爭などあつたが、殊けても角力は流石に勇士揃ひの事とて一番毎に面白く相撲の大關を勤めた堅いのが突出る軍服姿の將校の行司など共に頗る奇拔だつた

◉僞はらぬ映畫によりて 眞の日本の近時の文明が秀麗の風光が紹介される
―米國活動寫眞會社の社長技師等來朝―

世界の樂園と稱せらるゝ日本全土の名勝風俗其他百般の事物を撮影して眞の日本を全世界に紹介する目的で北米合衆國ロスアンゼルス市の

♣天然色活動

寫眞會社の社長ダブリユ、イーマッカルトと云ふ人が技師十四名を隨へ四月下旬橫濱入港のコレア丸で來朝すべく一行は既に桑港を出發したとの通知が此程同地駐剳總領事から外務省に達した此一行が果して眞に我國の文明及び

♣秀麗の風光

を世界に紹介する目的であるか何うかは知らぬが近時米國に於て興行される日本物の活動寫眞が著しく排日的色彩を帶び之が爲め在留邦人は一方ならぬ迷惑を蒙りつゝあるは事實である實例を云ふと今回日米親善の上に大害ありとて米國官憲から

♣興行差止め

命令を發せられたハリストセリツク會社のフイルムの如きは最も甚だしきもので何れも主人公を日本人に取り筋は大概軍事探偵を主題とし夫れに慘酷極まる行爲を配合して日本人は斯の如く危險で殘忍酷薄な國民性を持つて居る者であるとの觀念を具體的に表した者が多い先づ其內容を云ふとラスキー會社で撮影したチートと云ふ

♣映畫は日本

の或高等官が軍事探偵として米國の軍令部長の家へ奉公に入り祕密書類を竊まんと隙を伺つて居る而して此の高等官は米婦人を情婦に持つて居たが此女に自分以外に米國人の情夫があつて內々是に貢いで居る事を知り

♣嫉妬と憤怒

の餘り其女を打ち蹴り毆り遂に女の背中へ烙印を捺すと云ふ映畫である此種の映畫は婦人を尊ぶ米國の風習から見て甚だしく米人の感情を害し日本人を誤解させるものであるが彼等一部の興業者は其れを充分承知して居りながら人氣に投ずる爲好んで斯くの如キ仕組を用ひるのである又

♣日本の風俗

や風景を撮影したものでも成るべく彼國の人情に反したそして輕蔑と誤解とを招くやうな材料のみをフイルムに入れて居るとの事で日本官憲に於ても將來日本を撮影に來る彼等外人の取締を嚴重にする方針であると當局者は語つて居る（東京）

□皇后御用係 新任

日本女子大學の出身にして此程迄福岡縣立門司高等女學校教諭たりし吉田鞆子女史に對し十八日皇后宮職御用係たるべき旨御沙汰あり、同女史は午前十一時皇后宮職に出頭し大森皇后宮大夫より左の辭令を拜受せり（東京特電）

皇后宮職御用係被仰付　吉田鞆子
但し奏任待遇、年手當八百圓

◉大田の軍旗祭 餘興は雨で中止

步兵第七十九聯隊第二回軍旗祭は十八日午前十時より同聯隊營庭に於て舉行富塚聯隊長の式辭に次で分列式あり正午よりは重なる官民を招待して宴を開けり午後一時より餘興に入る筈なりしが雨天の爲め中止したり（大田特電）

◉清津の軍旗祭

羅南步兵第七十三聯隊騎兵第二十七聯隊合同軍旗祭は十八日午前十時三十分より練兵場にて舉行、聯隊長の式辭に次で分列式を行ひ終つて官民の祝宴に移り午後は兩聯隊の餘興あり盛況を極む（清津特電）

◉全州の軍旗祭

全州守備隊にては十八日午前十時三十分より軍旗祭を舉行し重なる官民を招待して祝宴を張れり（全州特電）

◉五重塔を欺むいて買取る

仁川府龍岡町居住土木請負業片山佐吉（四）同松峴里村擧侯（三）仁川郡南四面倉里丁秀爕（五九）三名は共謀し本年一月三十日龍仁郡二東面時美里農李承燮方に至り骨董品五重塔一個をあるを見て之れを讓渡すべしと迫りたるとこは承燮方祖先傳來の貴重品なるを以て幾程金を出すも讓渡し相成らずといふを進り三名は縱令自己の品物なりとも總督府より發見されたる時は無償にて引上げらるゝ品物なるを以て吾等に賣却せよと欺き百三十圓を交付して持ち去りたるが三名は此程承燮より告訴せられ龍仁憲兵分隊に引致取調べの上檢事局へ送られたり

◉通譯附の強盜 白晝鮮人を襲ふ

京畿道開城郡南面照濟里崔舜益（三五）方に四月九日午後一時頃年齡二十歲位の內地人が暴れ込み國語にて金を出せ萬一應せざれば殺害すべしと脅迫したるも

▲言語通ぜず　同里の金完燮（二九）を呼び來り通譯せしめたるに金品强要の旨判明したるより完燮は逃走したるが件の曲者は更に吳鑾方には目的を遂せず隣家洪吉萬方に侵入し小刀を以て出金せよと脅迫し尚白萬壽、朴明根方にも

▲同樣立入り　脅迫中を開城憲兵分隊の憲兵が取押へ引致取調べの結果新潟縣西蒲原郡味方村生れの捕四郎（二〇）といひ餘罪ある見込みにて引續き嚴重取調中

◉密告されて放火

京城蓬萊町金昌成方金起鳳（二九）は本年三月三日松月洞禹重命方の土塀を乘り越ゑて侵入し蠟燭を竊取したるを手初めに其後數回同家より眞鍮鉢其他を竊取したるより鍾路警察署に捕はれ京城地方法院にて笞九十の處分を受けたるより之れ禹重命が其筋に密告したるものならんと大に怨み三月二十四日夜禹重命方に放火して遂に全燒せしめたること發覺して又復鍾路警察署に檢擧せられて裁判所へ送られたり

◉人間の油を絞取る
工場が獨逸に出來た―數百人を一束とした屍體續々到着

獨逸人が人の屍體を燒き棄つる由は數月來聞こえ居りしが今日漸く傳ふる所に依れば屍體を燒く工場主は一個の定業となりて是より油を絞取り其糟は壓し潰して豚の飼料及肥料と爲せり是が爲にライン、ランドに一工場を起し數百人を一束としたる屍體は續々到着し居り工場にては是を大釜に投じて八時間許り徐々に煮立て機械にかけて絞り取り黃褐色の油を得之を小樽に詰めて送り出せり工場使用人は皆兵卒にして油衣を穿ち假面を冠れりと（倫敦電報）

◉疾走中の電車內で亂暴 車掌を毆り倒す

十五日午後三時三十九分釜山郵便局前電車停留所を溫泉場に向ひ發せし第三號電車に乘り込みたる東萊溫泉洞建築請負業木村嘉太郞（四二）が酒氣を帶びて後方運轉臺に立ちながら信號綱を無茶に引き張りし爲め疾走中の電車を操車中の運轉手は急變ありと急に停止をなさしめたるを知つて嘉太郞は大に怒り何故止めたと怒鳴り出し尙ほも信號綱を引き鳴らすに車掌金學泰（二九）が制するを何を生意氣なと拳固を振つて面部を毆り靴穿きの儘橫腹を蹴飛ばし且つ左手に擦過傷を負はせたるに車掌金學泰は大に怒り釜山警察署に告訴をなしたり

本社主催南北滿洲視察團
◆遼河 注海處 營口見物の一日

營口に於ける滿洲視察團一行は十八日午前八時滿鐵東埠頭の遼河々畔に出づ戎克の帆影は昔日の儚を止めざるも濁流滔々たる遼河の流れは

△源を蒙古に　發して蜿蜒千五百二十支里營口に至りて海に注ぐ一行は二隻の滿鐵小蒸汽船に分乘し一里餘を下りて十五分の後滿鐵西埠頭に上陸し其れより營口第一の老爺廟通を見物し歸途は復た汽船にて溯航して同九時二十五分發東埠頭に上陸す遂に江を隔てゝ

△遼西の平野を　望めば雲烟模糊たる地平線の彼方蒙古の大平野は海の如く橫はる近時營口の繁榮は大連の發展に及ばずと雖も近く鞍山站鐵坑と蒙古の開發と相俟つて益々多望なる前途を有す一路北京に到る可き京奉線の河北驛は

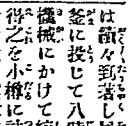
△江の對岸に　在り官民多數の歡迎會は居留民團樓上にて十一時より開催さる滿洲新聞主幹小川逸和氏の謝辭あり十一時過營口驛發大石橋を經て大連に向ふ見送り例に依つて盛んなり（十八日午後零時二十五分發大石橋都員金谷發電）

◉大田荒しの泥棒

大田東町一丁目土木請負業白河組事務所內に忍び入り現金五十六圓を東町二丁目建築業須々木俊次郞方にて衣類三十餘點約四百圓餘を竊取せる賊あり大田警察署にては犯人搜索中の處同地本町一丁目土木工夫青森縣生れ岩城菊松（二九）を逮捕し家宅搜査の結果賍品の一部を發見したり尙ほ同人の情婦本田ゆき、同地春日町一丁目大工田中庄三老母某を連累者として何れも逮捕したり（大田）

◉暴風警報（四月十八日午後六時發表）

▲風强かるべし▲低氣壓位置渤海灣東▲示度七百五十二粍米突▲進行方向東▲記事南西風强し降雨あるべし▲警戒區域平安南北道沿岸



他人の姓名を間違なく讀むことは却々困難なものだが、其れでも普通耳慣れた讀み樣は別として讀字係に人の姓名に全然コヂつけ讀み同樣のものが少くない▲一寸變つた日本人の姓を並べ立てゝ見れば色々の讀み樣のものがある先づ一口、寧、一寸六分、一尺八寸此の二つはどちらもカマツカと讀み、鹿伏兎、布良、樂袋、木槵、堺和、逹谷窟、刑部、東稻、戶次、空閑、神々廻、神代、不入斗、飯座、利光、天春、志柏なども變りものだが▲言語道斷、釋迦牟尼佛、階老同穴坂、眼目、大佛、正月一日などになると愈々滑稽なものであらう、其他栗采、彭城、兄上部、臣、英、鐵は何れも同音で▲其他一字姓として鴟、楕、粉、裕、京、的、東等もある、倫執行、我孫子、勅使河原、東海林、弓削、設樂、任生等は京城でも聞いた姓であるが▲其他此口、十寸見、四月朔日、波々伯部、宗像、飛鳥井、泉二、紅白、左澤、日下部、正親町、柳樂、功刀、五月女、服部、安食、乙骨なども一寸變挺であらう

えんげい

◉壽座　四日目　今樣能樂泉清三郞一座は連日大入を博しつゝあるが十九日四日目の狂言は左の如くにして圖體に割しては……

◉有樂館　十九日より……映畫の替りあり▲風山▲鬪丸▲英上▲騎兵▲狂言師▲狗鋪り▲二人大名にてその重なるものは左の如し▲京劇悲劇死の勝利三卷▲實寫ヴエニスの河口▲喜劇……

◉御成座　新派劇新聞三郞一座にて十九日の晝夜より番組は一番目嵐全八場二番目武士と町人

◉庭球春季大會 京電對鐵道俱樂部試合

京城鐵道俱樂部にては來る二十二日（日曜日）午前九時より構內設置のコートに於て庭球春季大會並に瓦斯會社との對抗試合を舉行する筈なるが其順序左の如し▲春季大會（自午前九時至正午）▲對抗試合（組數七自零時半至午後三時）▲春季大會續行（自午後三時至日沒）以上

◉梨花洞の火事

十七日午後四時半梨花洞二十五番地靴職李元相方より發火し同家溫突二間隣家二間を燒燬したるが附近なる工業傳習所の人々驅付けて消防し同四時五十五分頃鎭火せり原因は小兒の弄火なるべしと

◉又復南大門城壁脇の火事 原因に不審あり

二日前なる十六日午後四時頃全季鑛三戶を出したる京城府南大門通四丁目にては又もや十八日午後二時二十八分頃同所三十六番地安明善及び隣家朴永汝方との間より發火し南大門外三箇所の常備消防隊本町警察署員出動して消火警戒に努め草葺溫突安明善方二間、永汝方三間を燒燬して同二時四十分鎭火せり白晝のこととて雜衆の爲め一時は頗る混雜せり人畜に死傷なく家財は大部分搬出されしより損害三四十圓位ならん因みに發火の原因に就いて不審の點あり目下本町警察署にて嚴重取調べ中

朝鮮總督府　一石炭（切込）貳百九拾五噸　右購買ス詳細ハ四月十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

菊苗　當場は十數年の實驗に依り他に類例なき珍種を無數に蒐集し之が頒布に當りても充分の責任を負ひて既に愛好家の高評を受く 培養法名鑑錄は二錢切手封入申込次第進呈す　大阪市外天王寺驛南一丁　猪子園藝場

京日案內　普通五十字一回前金　番外一回前金

◉鑛山現場監督に經驗ある者採用希望者は履歷携帶本人來談　京城旭町一丁目一〇三　三友鑛業事務所　987

◉慶通月收の御方へ迅速簡易立替御報伺又は御來談　京城大和町三の三二（府廳前）起木屋　978

◉家或は宅地放賣◉米穀集散地のも一等地の家又は宅地を買ひ度し◉停車場直前◉水原太田胡（匿名）　983

◉女ボーイ數名至急入用　希望の者は申込まれたし　仁川仲町　仁川ホテル　975

◉古本熱心高價買入◉御報參上◉是非御試賣を乞ふ　▲本町二▲書肆　耕書堂　792

◉自轉車月賦販賣に應ず　京城黃金町二丁目角　イバラキ商店　電二九二七　797

◉▲櫻樹賣モノ　吉野櫻十尺以上廿尺數百本廉價販賣　京城東四軒町　電話取次二〇六四　百花園

▲店員（印刷見習に經驗ある者）數名▲補字▲解版數名　右募集す希望の者は履歷書送付あれ試驗の上採用す　京城旭町二丁目　京城印刷所　991

內勤員採用　甲種商業卒業又は中學以上品行方正にて市內確實な身元保證人二名を要す希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ（姓名在社）　993

◎礦物定量分析　太平町二丁目二五　電話長一三四四　朝鮮公論社左側小路　坂元分析所　960

▲牛耳洞行自働車　觀櫻諸彥の御便利を圖り牛耳洞行自働車運轉仕候間陸續御乘車願上候　電話二九　南大門通一　廣橋自動車組　989

◉讓店　京城北米倉町雜貨店にて充分利益ある老店舖都合上居拔のまゝ讓渡し希望の御方は本人來談あれ（姓名在社）　990

◉社員募集　簿記に精通し倉庫業に經驗ある者保證人二名履歷書要　株式會社哈爾賓倉庫　南米倉町商業銀行內山本方　984

金石商會技術部　▲京城鍾路二丁目九九番地▲鑛物分析及鑛山測量▼　電話一八九九番　942

◉はねつき うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　746

多利　ゴム風船賣月サック卸商　◯當店特色は小賣は三倍以上五倍利す薄利多賣定價表無料送　京城太平通二　電話二六〇六番　太陽商會　766

◉京城春川間每日午前八時卅分出發　自動車賃金片道四圓　◉南大門通一丁目　電話二一九番　京春自働車　廣橋自働車主務　金正淵　775組

恩給　年金低利長期最即時全額立替　短期保險不要確實融通　並金錢兩替　京城永樂町一丁目商品陳列館前下角　江州屋本店　781

安東縣有志の招聘に依り四月十五日より約三週間同地出張　再び歸京診察に從事可仕候間此段謹告仕候也　京城長谷川町　安東病院出張　久枝肛門病專門醫院

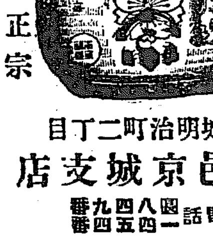
結核治療并豫防最新注射液　ツベルクロストローミン　醫學博士百瀨一二先生創製
本品は醫學博士百瀨一二先生多年研究の結果發見せられ結核菌中に含有し吸收を妨碍する蠟樣物質を脫却して得たる菌體蛋質の浮游液にして生體內に於て溶結核菌性抗體を產生せしむべき免疫元たり
本品は生體に注射するに其吸收容易なるが故に從て高度の免疫力を發生せしめ得べし
本品を結核患者の根治的免疫治療並に健康者の結核に對する豫防注射に使用して顯著の効果を奏すべきことは學理並に幾多の實驗に依り證明せらる、所なり
說明書は御申越次第進呈す
東京市神田區淡路町　發賣元　風雲堂後藤合資會社

東京人　榮之助に告ぐ　徵兵補充の件にて至急歸れ　東京　角野

四月廿日より　五月人形大賣出し　小間物商　京城本町二丁目　松菊屋　電話二四六三

京城旭町一丁目　小林醫院　內科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　醫學士　小林千壽　電話六九二番

比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗　サクラ正宗



京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話四八一・九四四・五四番　振替京城五七番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　電話一八〇〇番・二六〇〇番　酒井婦人病院　入院隨意　院長　酒井一郎

怒濤の月

百三十九　小林蹴月作　武内桂舟畫

苦肉と苦肉「廿七」の四

『おい〳〵、倉橋君、謙遜は人間の美德かも知れんが、時には非禮に陷る事もあるんぢやからね。折角花泉閣下が親切に仰有つて下さるのに、お請を爲んと云ふ事はないぢや。未熟ながらも、能ふ限りの努力を致して見ますと、何故男らしうお答へせんのか。』

村山は、既に此處へ來る途中にも、幸三郎に諄なしく說き聞かせて來たのである。それは彼の紙代に關する感情などは、一切忘れて了つて、男爵から若し金屏風を揮毫せよとの依賴があつたら、潔く引受けた上に、秋の文展までには、十二分の雪辱戰をやる覺悟でなければならぬとの友誼的勸告なのであつた。幸三郎も、無論その勸告に從ふ了簡で、同道して來たものには違ひないが、卒男爵と顏を合はせて、何かの物語りを交して見ると、矢張凡夫の淺猿しさであらう、紙代の一件がむか〳〵ツと胸先へ込み上げて來るので、義理にも我役にも、斯うした似非紳士の依賴に服從するのが、癪に觸つて怺へきれない。何だか藝術の神聖を冒瀆せらるゝやうな感じさへして仕方がないのである。彼の返答振に氣の乘らないのも、畢竟是が爲めなのである。

『倉橋さんの御性質としては、一應は御辭退なさるのも道理ですけれども、御前も折角、妾の願ひを叶へて金屏風に描いて見て頂きたいと仰有るんですからね、倉橋さん……村山さんも現に今のやうに仰有つてなんですもの……思ふさま立派な物をお描きになつて、後々へお貽しになつたが好いぢやありませんか。』

補子も等しく村山と口を合はせて熱心に勸め立てつゝ、眼顏で知らせた。

『はい……御親切の段は幾重にも感謝致しますが……什うも私には……』

幸三郎は、まだこんな事を言つて小鬢を搔いて居る。

『戯談ぢやないぜ倉橋君、君の偏窟者たる事は、誰も承知して居るから好いやうなもんぢやが、それでは第一與樣の御盡力に對しても濟まんぢやないか。既に描き上げた畫は、非賣品の札を付けて文展へ出品してもよいとまで仰せ下さつてあるのに、今閣下に直接お紹介せを願ふ段になつてから、それに煮切らんお返事を申上げると云ふのは、大なる失禮と云ふもんぢやよ。』

村山は、もどかしさうに手を差延べて幸三郎の羽織の袂を引きながら急ツ付く。

『………………』

それでもまだ、幸三郎は自分の足元のみを睨んでうじ〳〵して居た。

『本統に、此の御の壯い畫家さんにも似合はない遠慮深い方だわね。若し屏風を描くやうな大きな畫い場所にお困りの譯なら、ね御前、お屋敷の廣間を暫時畫室代りに貸して上げになつても宜しう御座いますわね。』

『そりやなに、倉橋さんさへ差支へがなければ、乃公の方では仕ひはせんぢやよ。』

男爵は、殆んど無言の有樣で、幸三郎の顏色から態度に注意して居られたのであるが、表面は飽まで左あらぬ風情で、斯う言はれた。而も高座の上へ一段高く展望を目的として發作につらはれたる此の花見臺の上からは、直ぐ眼下の淨玄寺の墓田を始め、雪地に面した庫裏本堂の瓦屋敷に至るまで、望遠鏡を要せずして手に取る如くであるから、男爵は自然眼前に居る幸三郎が心と、彼處に塾居せしめてある紙代の心持とを思ひ比べて、獨り窃かに異樣の感に打たれずには居なかつたのである。

『何にせよ、面白い現象を呈して來さうぢやわい。』

男爵は、我知らず會心の笑みを浮べて、うす霞む春の夕空を覗上げて居られた。

『閣下を始め、皆さまが左程までに仰せ下さいますなら、如何たる物が出來上るか存じませんが、當分の間、此お廣間を拜借して、揮毫に着手致しますで御座いませう。』

掛値なしに三十分ばかりも考へ込んで居た幸三郎は、漸う最後の意志を決して、確然と答へたのであつた。

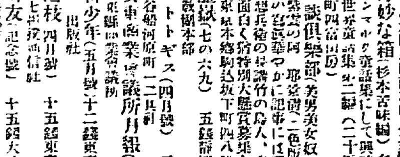
『それは辱けない、乃公も折角補子からのきつい勸誘は應じた甲斐があると云ふもんぢやでの。圖樣は先刻も申す通り何處までも雄大な壯絕な物を願みますぢやよ。』と男爵は、如才なき挨拶。

茶と珈琲とに次いで、ビーヤの數本は幾本となく女中どもの手に運び出されたのである。

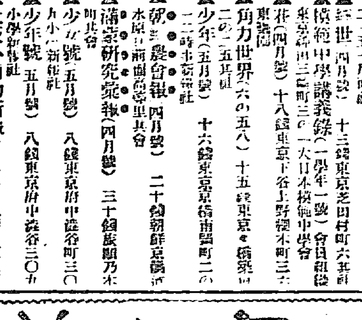
京城本町三ノ九 ドクトル 女醫 中村齒科醫院 電一五八三番

新刊紹介

▲奇妙な箱（杉本苦味編） 奇妙な箱外五篇のデンマルク童話集にして興味と教訓とに富める世界童話集第二編（二十五錢東京神田表神保町四宿田房）
▲講談倶樂部（美男美女奴一對號） 卷頭には繁雲の阿耶眞實（二色版）を初め美妓數十名の寫眞並に記事には桃山、仰天子、春山、砂想兵衛の尾讃竹の島人、春湖等の小說何れも面白く特に特別大懸賞募集あり（時價三十八錢東京本鄉駒込坂下町四八講談社）
▲靈獄（七の六九） 五錢靜岡本通二の一一眞年教觀本部
▲ホトトギス（四月號） 二十七錢東京牛込市谷船河原町二其社
▲安東商業會議所月報（二月號） 價不詳安東縣商業會議所
▲新少年（五月號） 十二錢東京神田錦町三の六出版社
▲國枝（四月號） 十五錢東京本所橫網町一の一七明枝吟社
▲湖友（記念號） 十五錢大連市寺內通二大連湖友協會
▲黒白（四月號） 十錢東京々橋築地三の一五共發行所
▲活動寫眞雜誌（五月號） 二十五錢東京神田錦町一ノ本町六五其社
▲橫東時報（二二） 十八錢東京々橋築地明石町三三其社
▲模範中學講義錄（臨時增刊號） 會員組織東京神田三崎町三の一其會
▲ザ、プリンター（四月號） 東京々橋區
▲大日本新聞（三三二） 五錢東京麴町有樂町一の四其社
▲現代之科學（四月號） 二十八錢東京芝田村町六其社
▲經世（四月號） 十三錢東京芝田村町六其社
▲模範中學講義錄（一學年一號） 會員組織東京三崎町三の一大日本模範中學會
▲花（四月號） 十八錢東京下谷上野櫻木町三二
▲角力世界（六の五八） 十五錢東京々橋築地二の二五其社
▲少年（五月號） 十六錢東京京橋南鍋町二の一二時事新報社
▲蒲宗研究叢報（四月號） 三十錢
▲朝鮮農會報（四月號） 二十錢朝鮮京城朝鮮農會
▲少女號（五月號） 八錢東京府中澁谷町三〇九小々新報社
▲少年號（五月號） 八錢東京府中澁谷三〇九小學新報社
▲大阪小間物新報（四八二） 五錢大阪東區北久寶寺町四四其社
▲少女（五月號） 十六錢東京京橋南鍋町二の一二時事新報社
▲金星（四月號） 十九錢東京麴町有樂町一の三其社
▲滿鮮評論（四月號） 二十五錢京城太平通二其社
▲朝鮮產業界（四月號） 二十錢京城黃金町二の二一七其社
▲婦人週報（三の一五） 四錢五厘東京牛込市ヶ谷田町二の二七其社
▲海外少年（五月號） 十二錢東京芝南佐久間町一の一其社
▲工學（四月號） 二十五錢東京日本橋本石町一の一其社
▲子供之友（五月號） 十二錢東京雜司ヶ谷上屋敷二四八婦人之友社
▲フースヒー（三六） 五錢東京府下澁谷二二其社
▲國語教育（話方號） 各府縣師範學校附屬小學校に於ける話方教授の現況を初め名稱の記事依例教育實際家必讀の好文字（二十五錢東京牛込白銀町二十育英書院）
▲文明の日本（創刊號） 哲學的精神描法が明導せる文明大學院の機關雜誌と見るべきものにして哲理描法に關する記事を收む（十五錢富山縣入善町在新屋文明大學院）
▲實業之日本（四月號） 現在の政治運動は恐いかなる題下の大木伯以下三名士の說、對支政局、經濟界等の各問題其他を收む（十三錢東京麴町市樂町一の四其社）
▲地歷叢報（一の五） 依例コロタイプロ繪記事挿畫等數十を配して地理歷史に關する興味ある記事を滿載せり（三十八錢東京下谷々中初音町四の一四一聚益）
▲娛樂世界（四月號） 講談落語には宵州、金馬、如燕、小燕枝氏他一流どころを網羅し歷史美談、小說、雜錄等の名篇依例華やかなり（二十五錢東京日本橋スキヤ町其社）
▲日本印刷界（八九） 印刷界の要素、色彩印刷術、成功する廣告の…（東京）
▲太靈道の公宣 東京麴町區一番町田中守平氏は今回其創唱に係る新思想太靈道を公宣したり氏は幼時東都に出て苦學を重ね明治三十六年十一月滿洲問題に關し日露開戰論を主張し非常の手段に出でたる爲め時の當局者の忌諱に觸れ爾來本縣に隱遁して森林中に草廬を結び爾來研究を積み大に發明する所あり後三十九年上京して故兒玉大將後援の下に蒙古探險隊を組織せしも大將の薨去に逢て空しく北の志を遂げず再び森林に隱れ四十三年九月始めて太靈道を發見し爾來朝鮮滿洲蒙古の各方面を旅遊し特に蒙古に在りては王族喇嘛等の歸依を受しもの多かりしと云ふ近來東京に至りて上流知識階級者の間に信仰者頗る多く驚くべき努力を抉玩し滿都をして贊嘆せしめつゝあり今太靈道の內容に就きて聞くに宗教、哲學、科學を超越したる新道教にして空論空想を說かず總て實踐的に效果を以て精神の安立を圖ると同時に殊に靈子作用と云へる不思議の靈能を諸人に體得せしめ之れに依りて內體の健康を確保し得ると云ふ太靈道及び靈子術は直接又は通信にて講授し目下入門者內外人を通じ約十萬の多數に達せる由此際全世界に向つて大運動を開始し思想界學術界に一新生面を開くべしとの事なり
▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部



あざ そばかす ほくろ
全治して再び發生する憂なし
藥學界に名著有名なる一等軍醫尾崎博士先生が數年間苦心研究の結果發見せる…人に知れずに治して書いた不思議にヨクキク信用ある藥
…京橋町…東京博愛藥院

最も信用ある東京三金の靴

ボックス長靴 中長 本表 金五圓五拾錢 金六圓也
ボックス革製編上 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製雙型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製しあれば一般官用紳士靴として好適なり 御注文の節は靴形御寸法と足型（送料負擔）にて送附す
最新目錄無代進呈 東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一七九〇 振替東京一二二三番

百圓進呈 りん病 ばい毒
淋病與主藥は治淋劑とし梅毒與主藥は驅梅內服藥として醫藥學上最有効と確定し帝國醫科大學院病院等に於て當局配劑せる高貴藥たることを保證す若し前述の證言に違ふ事を發見せる時は分析料として百圓進呈
▽あらゆる治療を講ずるも効なき患者は一度來談あれ
にせ物あり 大阪有田
京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會京城本部
京城南大門外大車場通 大阪ドラッグ商會
他の藥店に販賣を不許

御內意に依り謹製したる
純白 美顏洗粉

高貴方の御不自由

皆樣御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りました。就ては其筋々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられた方が多く、殊に從來西洋品をお用ひになつて居られた高貴方の御不自由はまた一通りでありませんでしたが、內國品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事でありますが、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の思召として、或筋から弊舖へ誠に有難い御內意が傳達されました。

有難き御內意

其れは完全な研究の機關のある美顏白粉本舖で、佛蘭西製の洗粉と變られぬ洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御內意です。弊舖では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、それには餘程研究を積まねばなりませんから更に相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て顧問丹波、山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を擧り、苦心研究數箇月にして、漸う是ならばと自信のある洗粉が出來上りましたので、早速御試用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顏洗粉なのです。

美容術大家ルウ井ズ孃

今東京で、婦終商貴の方々の美顏術と御化粧方とに召される名譽ある美容術大家マリー、ルウヰズ孃は故國佛蘭西の巴里美顏術學校を卒業して日本へ來られ其の科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勤めるにつけて、美顏術上の持殊な材料はそれ〳〵御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと矢張輸入杜絕以來非常に困つて居られたのですが、美顏洗粉が出來てからは、非常に喜ばれ、美顏術に美顏洗粉を用ひられるやうになりました。

何處が違ふか？

美顏洗粉は普通の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に蛋白質、中性脂肪が、及び最近弊舖研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に清白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑らかにし、美しい光澤を添へ、更に容貌の美しさを增し、續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行届いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよい程ど色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。皆樣この御內意に依り創製したる洗粉は何の樣な洗粉でせうか。發賣後まだ間もないのに、大變な人氣になりましたのを見ても、此洗粉の品質の特に優れてゐる事がお解りになりませう。未だの方は早くお試しなさいまし。乾度お樂しみが一つ殖ゑます。

最新刊 大阪屋號書店
[illegible]

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四一番
內科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏

大邱浦項間自動車、時間
大邱 大塚農場自動車所 出張部

金泉醴泉間自動車、時間
金泉織居自動車支部

尼崎汽船出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大有丸 四月 日後四時出帆
秀吉丸 四月 日後四時出帆
君か代丸 四月二十日後四時出帆
神代丸
仁川海岸通五十番地 杉 回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
和泉丸 四月廿一日正午出帆
摂津丸 五月十一日正午出帆
三河丸 五月十二日正午出帆
仁川海岸町 回漕店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
和歌浦丸 四月廿七日後五時出帆
立神丸 四月廿六日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行
和歌浦丸 四月廿五日後十時出帆
立神丸 五月 日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸 四月 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 九月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
毎月二日九日十六日廿三日午後十時出帆
天員丸
釜山港埋立新町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
江原丸 京畿丸 黃海丸 成鏡丸 四月廿二日 五月四日 四月十九日 四月廿九日 釜山發
穩城丸 昌平丸 鏡城丸 四月廿九日 四月廿三日 元山發
昌平丸 四月 日 元山發
金德丸 四月廿二日 釜山發
江陵丸 毎日 浦項發
三浦丸 四月廿四日 釜山發
海州丸 慶州丸 毎日 釜山發
平安丸 四月廿二日 元山發
天丸 二日目毎 木浦發
慶興丸 四月廿六日 木浦發
慶興丸 四月廿三日 木浦發
公州丸 四月二十日 仁川發
江原丸 四月 日 仁川發
麗水丸 晉州丸 四月廿一日 仁川發
宗信丸 四月廿六日 仁川發
全羅丸 南陽丸 毎日午前 仁川發
京城南大門 松原運送店 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆
群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
…丸 四月廿八日 …丸 四月廿三日後五時出帆
…
大連、旅順、天津、芝罘行 …
御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二二番

北共同汽船仁川出帆
伏見丸 芝罘、大連行 四月廿二日午後入港 四月廿四日正午出帆
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目 野口商會